

# キク種 特性調査マニュアル



(第5版)

令和2年7月30日 改正

国立研究開発法人  
農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター

6 特性調査方法

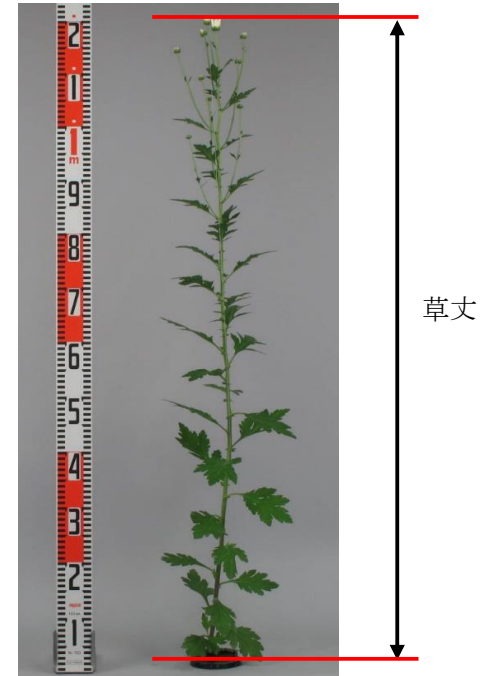
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1 (* )	QN G	草丈	Plant : height	地際から最高部位までの 高さ	測定 ( a ) cm	3 5 7	低 中 高	short medium tall	Dekyen、神馬 フィグランド <sup>®</sup> ピンク	

調査時期

- ( a ) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

調査方法

- 地際から植物体の最高部位までを測定する。
- 調査時期の目安とする先端の頭花は主茎の頂花とし、頂花が無い品種及び下から開花する品種については、最初に開花する典型的な頭花とする。(CPVO協議)



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2 (* G (+)	QL	草型	Plant: type	植物体のタイプ	観 察 ( a )	1 2	叢生でない 叢生	non bushy bushy	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク ヨダトラ	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- 主要な1本の茎の有無で主に判断する。主要な1本の茎とは、強い頂芽優勢により形成された茎で、側枝よりも太いものを指す。(CPVO協議)
- 以下の状態の定義を対極とし、地際からの分枝の発生状態や枝分かれ等を総合的に観察し、どちらに近いかで判断する。(CPVO協議)

**【状態の定義】**

- 1 叢生でない：側枝の有無にかかわらず、ピンチしなければ、自然にひとつの茎を生成する強い頂芽優勢を持つ品種。
- 2 叢生：主要な一本の茎を持たず、自然に藪のような生育を生み出す、弱い頂芽優勢を持つ品種。



1  
叢生でない



1  
叢生でない



2  
叢生



2  
叢生

**参考事項**

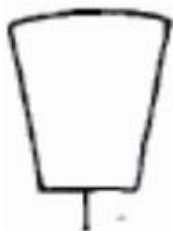
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3 (*)	PQ (+)	草姿（叢生品種に限る。）	<u>Only bushy varieties:</u> Plant: growth habit	草姿 叢生の品種に限る。	観察 (a)	1 2 3 4 5	直立 半直立 半球 開張 先端が這う	upright semi upright hemispherical spreading trailing		

**調査時期**

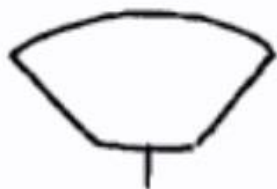
- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- 形質2「草型」が「2 叢生」の品種に限る。
- 草姿を下図に基づき、評価する。



1  
直立



2  
半直立



3  
半球



4  
開張



5  
先端が這う

※審査基準の図を引用





1  
直立



2  
半直立



3  
半球



4  
開張



5  
先端が這う

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	4	QN	分枝の粗密(叢生 品種に限る。)	Only bushy varieties: Plant: density of branching	分枝の粗密 叢生の品種に限る	観 察 (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	ヨダトラ	

#### 調査時期

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

#### 調査方法

- 形質2「草型」が「2 叢生」の品種に限る。



3 粗



5 中



7 密



3 粗



5 中



7 密

#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	5	PQ	茎の色	Stem: color	茎の色	観察 (a) (b)	1 2 3 4	緑 紫又は褐を帯 びた緑 褐 紫	green green tinged with purple or brown brown purple	フィゲラントピンク	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (b) : 茎の中央部1/3で調査する。
- 状態の定義(以下CPVO協議)
  - 1 緑 : 茎にアントシアニンの着色がないもの。
  - 2 紫又は褐を帯びた緑 : 茎の一部にアントシアニンの着色があるもの。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。

- 3 褐 : 茎のほとんどにアントシアニンが着色しているが赤味のないもの。
- 4 紫 : 茎のほとんどにアントシアニンが着色しており赤味のあるもの。



1 緑



2 紫又は褐を帯びた緑



2 紫又は褐を帯びた緑



2 紫又は褐を帯びた緑



3 褐



4 紫



調査部位  
主茎中央部1/3程

**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考	
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)			
6	6	6	QN	たく葉の大きさ	Stipule: size	たく葉の大きさ	観察	1	無又は極小	absent or very small	Vymini、神馬		
							(a)	3	小	small			
							(b)	5	中	medium			
								7	大	large			

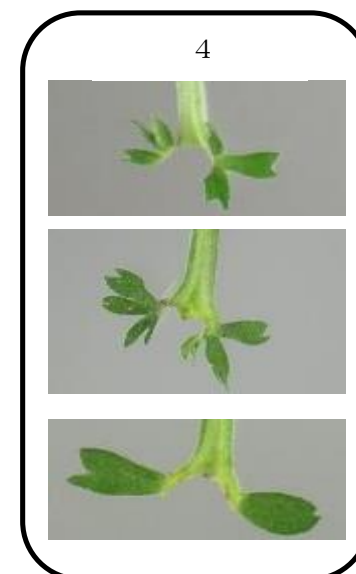
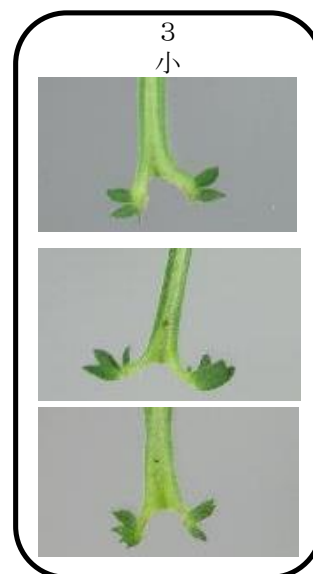
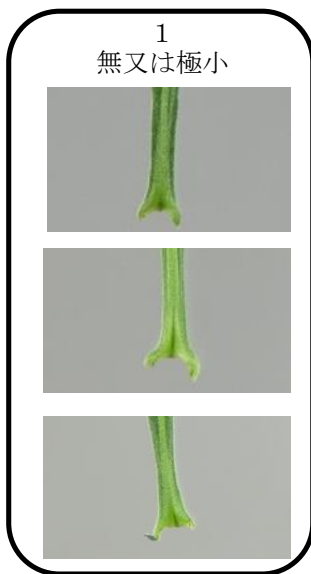
**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (b) : 茎の中央部1/3で調査する。
- 茎を3等分した中央部に着生している典型的なたく葉で調査する。
- 標準品種と比較した大きさを評価する。
- 以下の参考写真も目安とする。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。

たく葉の大きさ  
(原寸大)





たく葉の大きさ(原寸大)

5  
中



6  
やや大



7  
大



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	7	QN  (+)	葉柄の向き  Petiole: attitude	茎に対する葉柄の向き	観察  (a)  (c)	1  3 5 7  9	上  斜上 水平 斜下  下垂	very strongly upwards  moderately horizontal  moderately downwards drooping			

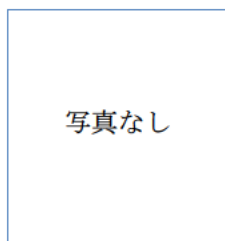
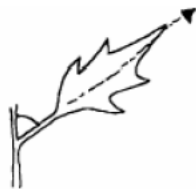
調査時期

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

調査方法

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 図のように、葉柄の着生角度で状態を評価する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。

※右図：UPOV基準準拠



写真なし



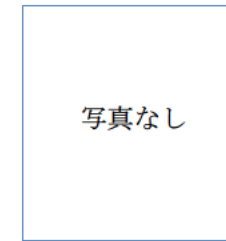
1 上



5 水平



7 斜下



写真なし

9 下垂

参考事項

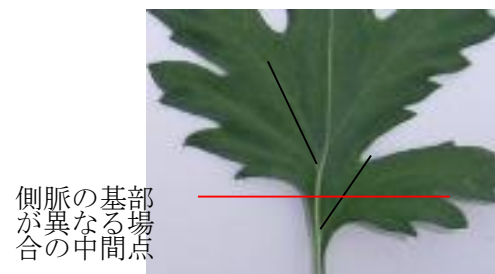
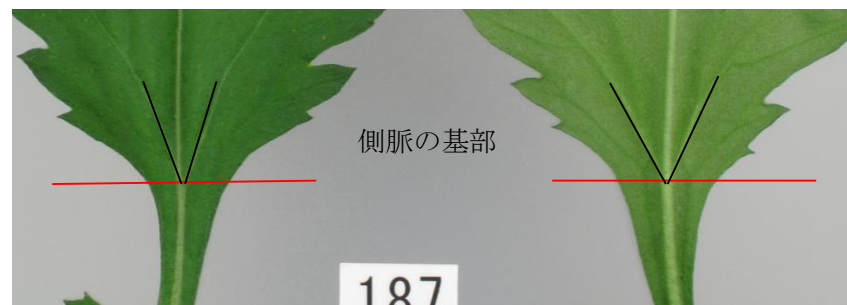
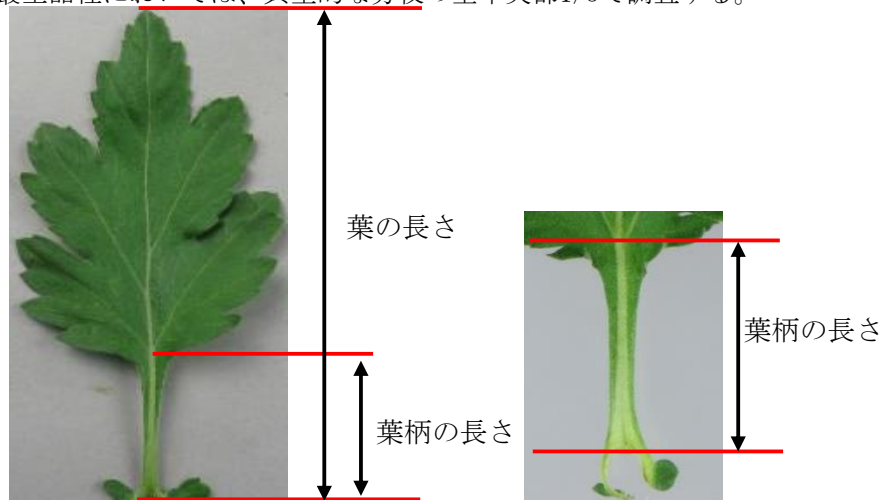
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	8	QN	葉柄の葉長に対する長さ	Petiole: length relative to leaf length	葉柄の葉長に対する長さ	測定 (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 葉柄の長さを測定し、葉の長さに対する葉柄の長さの割合で評価する。
- 葉柄は、側脈の基部から茎が接する部分（たく葉は除く）までとする。
- 葉身基部の側脈基部の位置が左右で異なる場合は、中間部で測定する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	9 (*)	QN	葉の長さ	Leaf: length including petiole	葉柄を含む葉の長さ	測定 (a) (c) mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	フィグランド <sup>®</sup> ピンク 神馬	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 葉の長さは、葉身先端から茎が接する部分（たく葉は除く）までとする。
- 葉が丸まっている場合は、押し広げて調査する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



**参考事項**



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	10 (*)	QN	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 (a) (c) mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ヨクダラ フィクランド <sup>®</sup> ピンク セイローサ <sup>®</sup>	

調査時期

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

調査方法

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 葉が丸まっている場合は、押し広げて調査する。
- 最大幅を測定する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	11 (*)	QN	葉の長さ／幅	Leaf: ratio length/width	葉の長さ／幅の比	測定 (a) (c) 比	3 5 7	低 中 高	low medium high	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	12 (*)	QN (+)	葉の先端裂片の 相対的な長さ	Leaf: length of terminal lobe relative to leaf length	葉長と比較した先端裂片 の長さ	測定 (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	フィゲラント・ピンク	

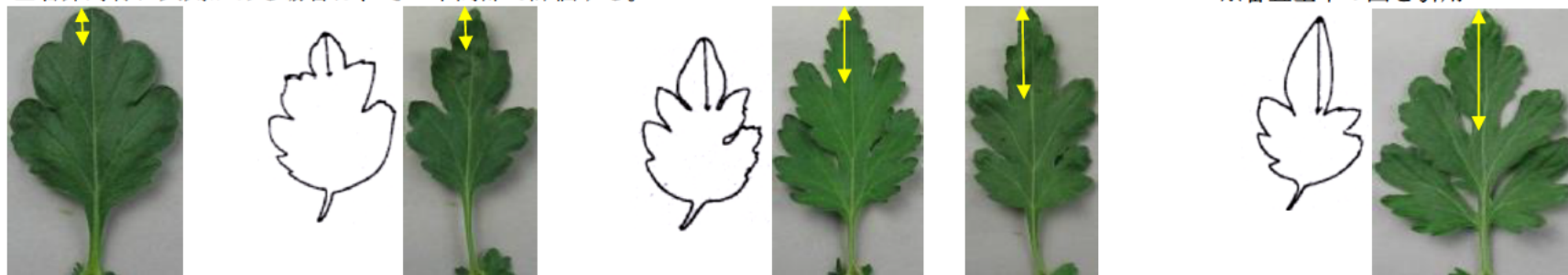
**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 先端裂片の長さを測定し、葉の長さに対する先端裂片の長さの割合で評価する。
- 先端裂片とは、各裂片の主要な葉脈と、各裂片間の主要な一次欠刻で区切られた先端の裂片とする。
- 左右非対称に欠刻がある場合は、その中間部で評価する。

※審査基準の図を引用



2 かなり短

3 短

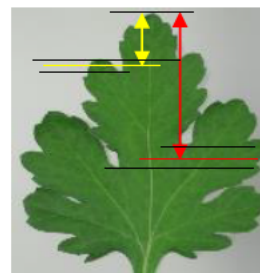
5 中

5 中

7 長

- 先端裂片は株全体を見て判断するとともに、側裂片の形と似ている状態を先端裂片と判断する。判断に迷うものは右写真のとおり長・短裂片の両方を測定しておく。

- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	13 (*)	QN (+)	葉の一次欠刻の 深さ	Leaf: depth of lowest lateral sinus	葉の一次欠刻の深さ	観察 (a) (c)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	フィグラント <sup>®</sup> ピンク	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 基部側の典型的な一次欠刻の深さを評価する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



※審査基準の図を引用



2 かなり浅

3 浅

4 やや浅

5 中

6 やや深

7 深

8 かなり深

9 極深

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	14	PQ	葉の裂片縁部の重なり	Leaf: margins of lowest lateral sinus	葉の裂片縁部の重なり の程度	観 察  (a)  (c)	1 2 3 4 5	広がる 平行 接近する 接する 重なる	diverging parallel converging touching overlapping	神馬  Vymini Dekyen	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

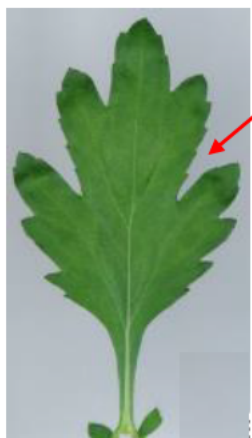
**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 基部側の典型的な一次欠刻で裂片縁部の重なりを評価する。
- 葉の裂片が持ち上がっている場合は、平面状（裏側にして置くとわかりやすい）にして評価する。
- 状態の定義
  - 3 接近する：欠刻底部に丸みがあり、葉の裂片が接近する。
  - 4 接する：欠刻底部に丸みがあり、葉の裂片が接する。
 二次欠刻が僅かに重なる程度は、「4. 接する」とする。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



葉縁全体を見るのではなく、欠刻底部の形に注視しつつ葉縁に引いた線で評価する。

例：左写真の場合、欠刻底部の形を踏まえ葉縁に線を引くと「2. 平行」と見なすことになる。



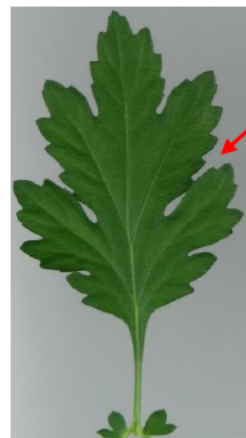
1 広がる



2 平行



3 接近する



4 接する



4 接する



5 重なる

**参考事項**



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	15 (*)	PQ (+)	葉の基部の形	Leaf: predominant shape of base	葉の基部の主要な形	観察 (a) (c)	1 2 3 4 5 6	鋭形 鈍形 円形 平形 凹形 非対称	acute obtuse rounded truncate cordate asymmetric	錦かざぐるま セイロザ	

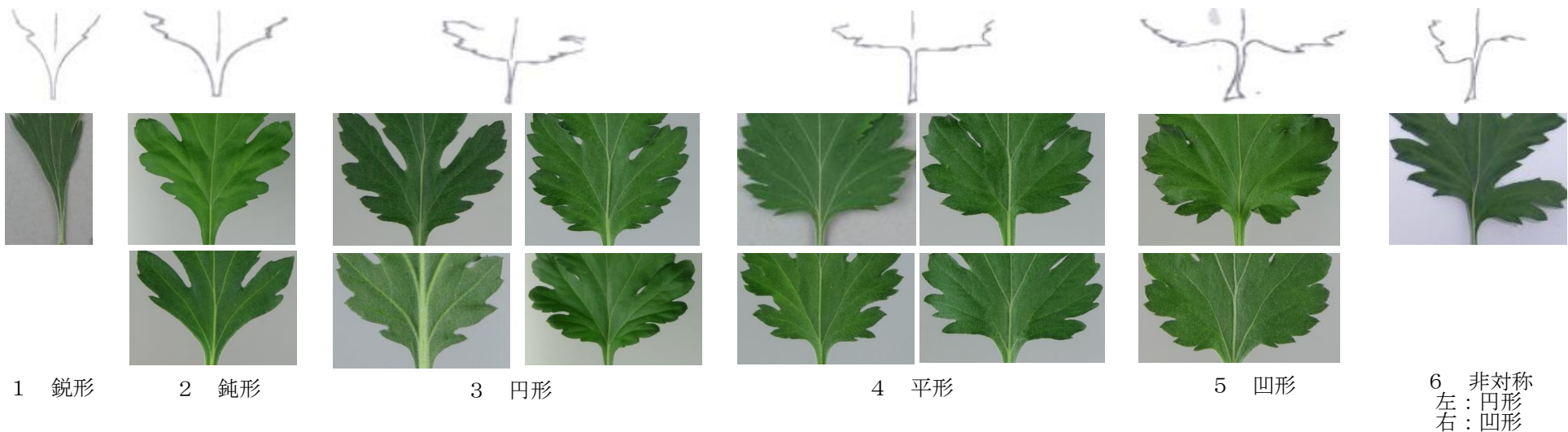
**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 葉の基部が盛り上がっているものは、軽く押し広げて評価する。
- 状態の定義  
6 非対称：基部の左右の形が異なるもの。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。

※審査基準の図を引用



**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	16	QN	葉の表面の光沢の強弱	Leaf: glossiness of upper side	葉の表面の光沢の強弱	観察  (a) (c)	1  2 3	無又は極弱  弱 強	absent or very weak  medium strong	セイローサ Dekyen	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 摘らいの有無、生育期間、施肥量によって変わるため、標準品種と比較し判定する。
- ほ場で区全体、立毛状態で調査する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



1 無又は極弱



2 弱



3 強

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	17 (*)	QN	葉の表面の緑色の濃淡	Leaf: green color of upper side	葉の表面の緑色の濃淡の程度	観察 (a) (c)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	Dekyen	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- ほ場において区全体、立毛状態で調査する。
- 摘らいの有無、生育期間、施肥量によって変わるため、標準品種と比較し評価する。
- 参考としてRHSカラーチャートによる評価も記録する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



3 淡



5 中



5 中



7 濃

**参考事項**



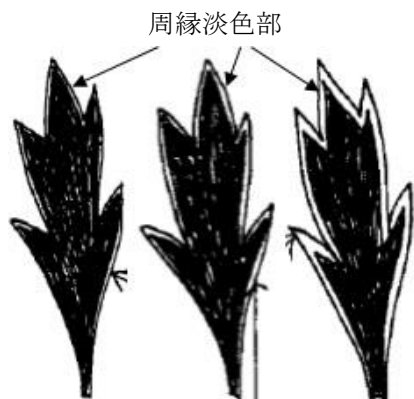
V I P S №		U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	18	QN (* (+)	葉の表面の周縁淡色部の顕著さ ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	<u>Excluding varieties of <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i></u> ; Leaf: upper side: prominence of pale margin	葉の表面の葉縁淡色部の顕著さ ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	観察  (a) (c)	1  3 5 7	無又は極弱  弱 中 強	absent or very weak  weak medium strong		

調査時期

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

調査方法

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- *Chrysanthemum* × *morifolium* 品種 (通称イエギク) 以外は調査する。
- 葉の表面に見えている葉の周縁淡色部の濃淡と幅の割合で評価する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



3 弱      5 中      7 強

※審査基準の図を引用



1  
無又は極弱



1  
無又は極弱



3  
弱



3  
弱



5  
中



7  
強



7  
強

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	19	QN (*) (+)	葉の裏面の毛の粗密 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	Excluding varieties of <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> : Leaf: pubescence of lower side	葉の裏面の毛の粗密の程度 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品種を除く。)	観察 (a) (c)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

調査時期

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

調査方法

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- *Chrysanthemum* × *morifolium* 品種 (通称イエギク) 以外は調査する。
- 葉の裏面の地色(地肌)の見え方により評価する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



2 かなり弱



3 弱



5 中



7 強



9 極強

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	20 (* )	PQ (+)	葉の裏面の色 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品 種を除く。)	<u>Excluding varieties</u> <u>of <i>Chrysanthemum</i></u> <u>× <i>morifolium</i> : Leaf:</u> <u>color of lower side</u>	葉の裏面の色 ( <i>Chrysanthemum</i> × <i>morifolium</i> 品 種を除く。)	測定  (a)  (c)		RHSカラーチャートの 色票番号によ る	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

調査時期

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

調査方法

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- *Chrysanthemum* × *morifolium* 品種 (通称イエギク) 以外は調査する。
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	21	QN (+)	葉の周縁の二次 欠刻の数	Leaf margin: number of indentations	葉の周縁の二次欠刻の数	観 察  (a)  (c)	3 5 7	少 中 多	few medium many	ヨダテ  Vymini	

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

**調査方法**

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 二次欠刻（鋸歯を含む）の数で評価する。
- 葉全体を観察して評価する。（CPVO協議）
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



※審査基準の図を引用



1 極少



2 かなり少



3 少



5 中



7 多



8 かなり多

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	22	QN (+)	葉の周縁の二次 欠刻の深さ	Leaf margin: depth of indentations	葉の周縁の二次欠刻の深 さ	観 察  (a)  (c)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ヨダテ  Vymini	

調査時期

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。

調査方法

- (c) : 茎の中央部1/3の典型的な葉で調査する。
- 二次欠刻（鋸歯を含む）の深さで評価する。
- 葉全体を観察して評価する。（CPVO協議）
- 叢生品種においては、典型的な分枝の茎中央部1/3で調査する。



※審査基準の図を引用



2 かなり浅

3 浅

3 浅

4 やや浅

5 中

6 やや深

7 深

7 深

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	23	PQ (+)	花序の形（叢生でない品種に限る。）	<u>Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: form</u>	花序全体の形（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	観察 (d)	1 2 3 4 5	円錐形 深いドーム形 円筒形 散房花序型 平らな散房花序型	conical deeply domed cylindrical corymbiform flat-corymbiform	Dekyen	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重品種は、先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (d)：スプレーギクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、摘らいしない試験区で調査する。
- 頂部から連続的に発生し、開花している分枝までの花序全体で評価する。
- 状態の定義
  - 1 円錐形：先端の頭花から下位発生分枝頭花までの外周の形が円錐状のもの。
  - 2 深いドーム形：先端の頭花から下位発生分枝頭花までの高さがある、外周の形がドーム状となっているもの。
  - 3 円筒形：先端の頭花から下位発生分枝頭花までの外周の形が円筒状のもの。
  - 4 散房花序型：先端の頭花から下位発生分枝頭花までの高さがなく、スプレー状のもの。または、上位数節の頭花の高さがほぼ同じで平らなもの。
  - 5 平らな散房花序型：先端の頭花から下位発生分枝頭花までの高さがほぼ同じもの。



1  
円錐形

※審査基準の図を引用



※右2枚の写真について、花序の先端部に丸みが確認でき、深いドーム形と迷うが、外周の形が直線的であるため、円錐形と判断している。



※審査基準の図を引用



2

深いドーム形



3

円筒形



4

散房花序型



5

平らな散房花序型



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	24	QN	花序の最大幅 (叢生でない品 種に限る。)	<u>Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: width at widest point</u>	花序の最大幅 (叢生でない品種 (形質2 参照)に限る。)	観 察 (d)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	フィゲラントピンク	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重品種は、先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (d)：スプレーギクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、摘らいしない試験区で調査する。
- 参考として3株程度測定する。



参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	25 (*)	QN (+)	花序の一次分枝の着生角度（叢生でない品種に限る。）	Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: angle between primary lateral shoot and stem	花房の一次分枝と茎との角度 (叢生でない品種（形質2参照）に限る。)	観察 (d)	3 5 7	小 中 大	small medium large	Dekyen	

調査時期

- 開花盛期：一重及び八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重品種は、先頭の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

調査方法

- (d)：スプレーギクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、摘らいしない試験区で調査する。
- 花序を形成する一次分枝の着生角度で評価する。

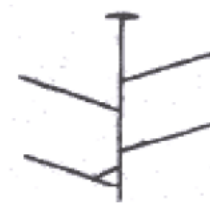
※審査基準の図を引用



( 30° )



( 45° )



( 60° )



1 極小



3 小



5 中



7 大

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	26	QN (+)	花序の側枝の頭花の向き（叢生でない品種に限る。）	<u>Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: attitude of lateral flower heads</u>	花序の側枝の頭花の向き（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	観察 (d)	1 3 5 7	上 斜上 水平 斜下	upright semi upright horizontal moderately downwards	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク	

調査時期

- 開花盛期：一重及び八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重品種は、先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

調査方法

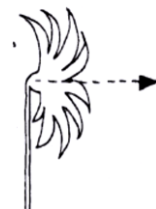
- (d)：スプレーギクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、摘らいしない試験区で調査する。
- 主茎から発生する側花の頭花の向きで評価する。観察する際は、萎れると下を向くため、植物体の水分条件に注意する。
- 下図のような花柄と花の角度ではなく、水平面に対する花の向きで評価する。



1 上



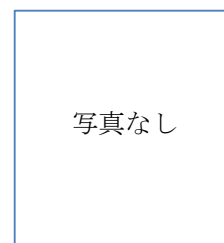
3 斜上



5 水平



7 斜下



※審査基準の図を引用

参考事項

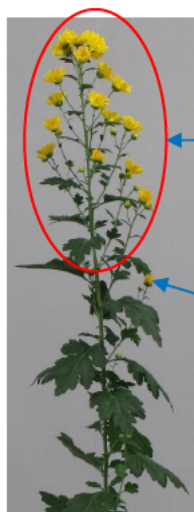
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	27	QN (+)	一茎当たりの頭花の総数（叢生でない品種に限る。）	Only non-bushy varieties: (see char. 2); Total number of flower heads per stem	一茎当たりの頭花の総数（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	測定 (d) 個	3 5 7	少 中 多	few medium many	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク Vymini	

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (d)：スプレーギクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、摘らいしない試験区で調査する。
- 1花序当たりの全ての頭花（つぼみを含む）を測定する。
- 頂部から連続的に発生している分枝までを花序とする。



頂部から連続的に発生し、開花している分枝

頭花の総数にカウントしない

**参考事項**



V I P S №	形質 番号	U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	28	QN (+)	株当たりの頭花の総数（叢生品種に限る。）	<u>Only bushy varieties (see char. 2):</u> Total number of flower heads per plant	株当たりの頭花の総数（叢生品種（形質2参照）に限る。）	観察	3 5 7	少 中 多	few medium many		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- 観察形質であるが、参考数値を記録しておくために、3株程度について株当たりの頭花の総数を測定する。



1 極少



3 少



5 中



7 多



9 極多

**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	29	PQ	花らしいの外面の色	Flower bud: color of outer side just before opening	開花直前の花らしいの外側の色	測定 (a) (e)		RHSカラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

**調査時期**

- (a) : 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに調査する。
- ここでいう「先端のつぼみが開花直前」の状態とは、舌状花が外側に開く前とする。

**調査方法**

- (e) : 先端の頭花について記録する。
- 総ほうの色ではなく、舌状花が開く前の十分色が発現した未熟な舌状花の色を測定する。(CPVO協議)
- 舌状花の無いものは除く。(CPVO協議)
- 色相の異なる複色が明確に発現している場合は、その色及び部位(※)を特性値欄に記載する。  
(※) : 部位の記載は先端、先端部、基部、中央部の縦線、横断(帯状)、至る所)より適当な部位を選ぶ
- 「観賞ぎく」は除く。



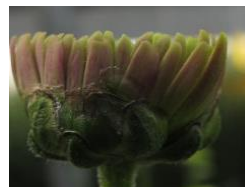
176D  
7A (先端部)



70C



185C



182C  
154D (先端)



70D



183A

**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	30 (* )	PQ G (+)	頭花の型	Flower head: type	頭花の型 (舌状花の重 ね)	観 察 (e)	1 2 3 4 5	舌状花なし 一重 半八重 露心する八重 八重	without ray florets single semi double daisy-eyed double double	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク ヨダトラ	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 舌状花の重なりについて記録する。
- 状態の定義
  - 1 舌状花なし：管状花のみの頭花。
  - 2 一重：1列の舌状花及び常に明確な花盤が確認できる頭花。
  - 3 半八重：2列以上の舌状花及び常に明確な花盤が確認できる頭花。
    - ・舌状花の重なる部位（先端、基部等）に関わらず、明らかに重なる状態が頭花中に複数箇所あれば、半八重とする。
    - ・舌状花の列数が多くても、開花盛期に自然状態で頭花の花盤の外側の管状花まで明確に見える場合に半八重とする。（CPVO協議）
  - 4 露心する八重：舌状花の列数が少なくても花盤が開花の初期段階は見えないが、頭花が完全に開くと花盤が確認できる頭花。
    - ・花盤は、常に明らかとは限らない。
    - ・開花盛期に自然状態で花盤の外側の管状花まで明確に見えない場合に露心する八重とする。（CPVO協議）
  - 5 八重：開花のどのステージでも花盤が確認できない頭花。
    - ・花盤としないもの（花盤の中に舌状花が混じり管状花が散在し盤を形成しない場合、または管状花が集中的にあっても管状花数が少ない場合）及び、管状花が集中的にあるが自然状態では見えないものは、花盤はないとして、八重とする。（CPVO協議）





1  
舌状花なし



2  
一重

僅かに重なっている部分が見られるが、この程度の重なりは明らかな重なりとはしない



2  
一重

僅かに重なっている部分が見られるが、この程度の重なりは明らかな重なりとはしない



3  
半八重

基部は重なっていないが先端部で重なる



3  
半八重

重なっている箇所がある



3  
半八重



3  
半八重

常に花盤が確認できる



4  
露心する八重

開花盛期に花盤が確認できる



4  
露心する八重



5  
八重

花盤のように見えるが、この程度までは花盤とみなさない



5  
八重



5  
八重

舌状花が混じり、管状花も散在するが花盤を形成しない



5  
八重

管状花は見えるが花盤を形成していない



5  
八重

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	31	QL (*) G (+)	花盤の型（八重 及び露心する八 重品種を除 く。）	<u>Excluding double and daisy-eyed double varieties:</u> Disc: type	花盤の型 （八重及び露心する八重 品種を除く。）	観 察  (e)	1  2	デイジー  アネモネ	daisy  anemone	フィゲラントピンク	

調査時期

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「1 舌状花なし」、「2 一重」及び「3 半八重」の品種の場合に調査する。
- 状態の定義  
2 アネモネ：管状花の一部が花弁状になっているもの。



1 デイジー



1 デイジー



1 デイジー



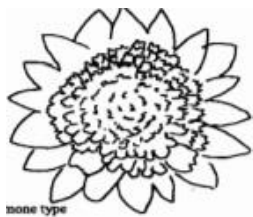
1 デイジー



1 デイジー



1 デイジー



2 アネモネ



2 アネモネ



2 アネモネ



2 アネモネ



2 アネモネ



2 アネモネ

※審査基準の図を引用

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	32	32 (*)	QN G	頭花の直径（摘 らいしていない もの。）	Flower head: diameter (non- disbudded plants)	頭花の直径 （摘らいしてい ないもの。）	測定 (d) (e) mm	3 5 7	小 中 大	small medium large	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (d)：スプレーギクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、摘らいしない試験区で調査する。
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 自然状態での頭花の最大径を測定する。

参考：調査適期ではない(頭花中心部の開き具合が不足している)。



※管状花が2～3列咲いており、調査時期。図のとおり自然状態（広げたりせず）で測定する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	33 (*)	QN G	頭花の直径（摘 らいしたもの。 の。）	Flower head: diameter (disbudded plants)	頭花の直径 （摘らいしたもの。）	測定 (d) (e) mm	3 5 7	小 中 大	small medium large	神馬	観賞 ぎ くは形 質93に 記載

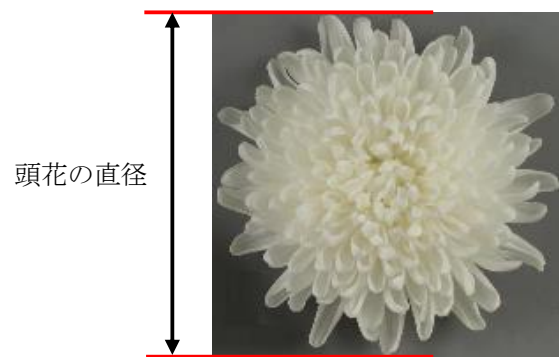
#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (d)：摘らいする品種のみを調査する。兼用の品種の場合は、摘らいした試験区で調査する。
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 自然状態での頭花の最大径を測定する。

参考：調査適期ではない(頭花中心部の開き具合が不足している)。



参考事項

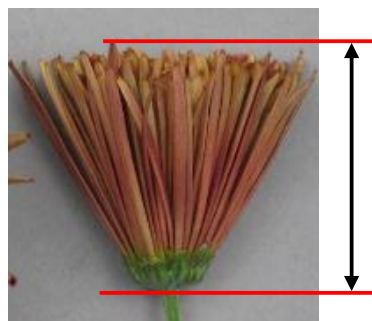
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34	34	QN	頭花の高さ（摘 らいしていない もの。）	Flower head: height (non disbudded plants)	頭花の総ほう直下あるい は花弁最下部のどちらか 下方に位置する部位から 頂部までの高さ (摘らいしていないもの)	測定 (d) (e) mm	3 5 7	低 中 高	low medium high	フィゲラントピンク	

#### 調査時期

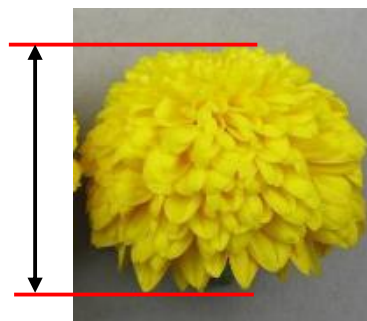
- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (d)：スプレーギクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、摘らいしない試験区で調査する。
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 自然状態での頭花の高さを測定する。



頭花の高さ



頭花の高さ



#### 参考事項



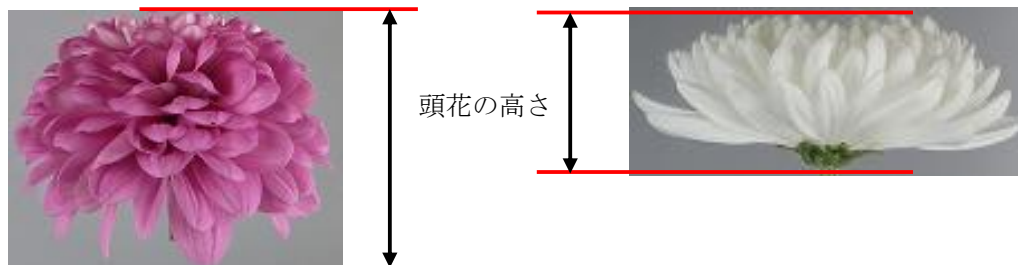
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
35	35	35	QN	頭花の高さ（摘 らいしたもの。 の。）	Flower head: height (disbudded plants)	頭花の総ほう直下あるい は花弁最下部のどちらか 下方に位置する部位から 頂部までの高さ (摘らいしたもの)	測定 (d) (e) mm	3 5 7	低 中 高	low medium high	神馬	観賞ぎ くは形 質 94 に 記載

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (d)：摘らいする品種のみを調査する。兼用の品種の場合は、摘らいした試験区で調査する。
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 自然状態での頭花の高さを測定する。



#### 参考事項

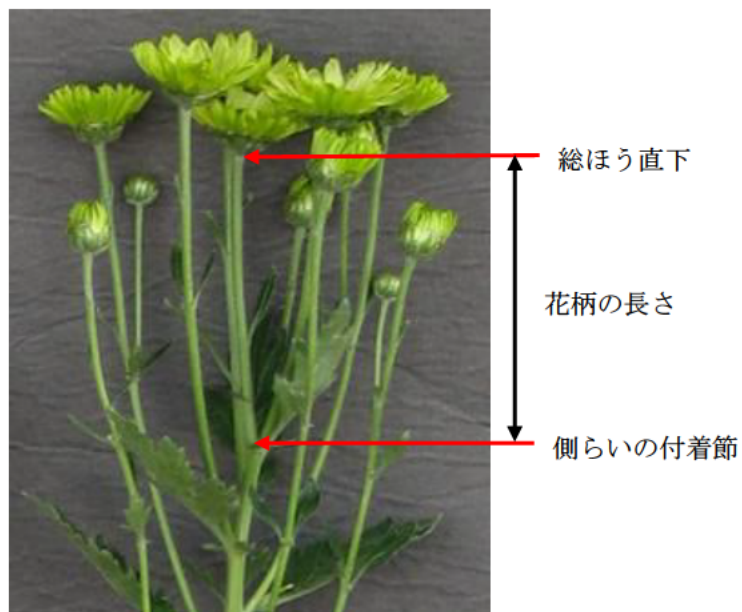
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	36	36	QN	頭花の花柄の長さ	Flower head: length of peduncle	頭花の花柄の長さ	測定 (e) mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	Vymini、ヨダトラ セイロサ	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 総ほう直下から、側らゐまたは側枝（痕を含む）の付着節、側らゐまたは側枝がない場合は本葉の付着節までを花柄とし、測定する。



#### 参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	37	QN	頭花の舌状花の 列数（半八重及 び露心する八重 品種に限る。）	<u>Only semi double and daisy-eyed double varieties</u> (see char. 30): Flower head: number of rows of ray florets	頭花の舌状花の列数 （半八重及び露心する八 重品種（形質30 参照）に 限る。）	観 察 (e)	3 5 7	少 中 多	few medium many	Vymini	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」及び「4 露心する八重」の品種の場合に調査する。
- 観察となっているが、参考までに舌状花の列数を測定する。
- 形質30「頭花の型」が「5 八重」品種についても形質39の参考として舌状花の列数を測定する。
- 1階級の幅は1列として観察し評価する。



1 極少

2 かなり少

3 少

5 中

7 多

#### 参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38	38 (*)	QN	頭花の舌状花数 (一重及び半八 重品種に限 る。)	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30): Flower head: number of ray florets</u>	頭花の舌状花数 (一重及び半八重品種 (形質30 参照)に限 る。)	測定 (e) 枚	3 5 7 9	少 中 多 極多	few medium many very many	セイローサ  Vymini	

**調査時期**

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「2 一重」及び「3 半八重」の品種の場合に測定する。
- 頭花の型が「露心する八重」か「半八重」で迷う場合は、後で評価が変わっても対応できるように測定しておく。

**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	39	39 (*)	QN	頭花の舌状花の粗密（露心する八重及び八重品種に限る。）	Only daisy-eyed double and double varieties (see char. 30): Flower head: density of ray florets	頭花の舌状花の粗密（露心する八重及び八重品種（形質30 参照）に限る。）	観察 (e)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	神馬	

**調査時期**

- 開花盛期：先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種の場合に観察する。
- 舌状花の密度を観察し、舌状花の列数、舌状花数（参考として3個体程度を測定）及び感触（例としてポンポン咲きは固い）なども参考にしながら総合的に評価する。

管状の場合



3 粗



4 やや粗



5 中



5 中



6 やや密



7 密

舌状・船底状の場合



2 かなり粗



3 粗



4 やや粗



4 やや粗



5 中



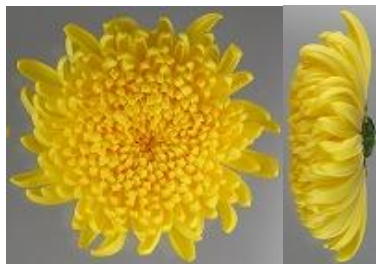
5 中



6 やや密



6 やや密



7 密



7 密



8 かなり密

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	40	40 (*)	PQ (+)	頭花の舌状花の 形の数	Flower head: number of types of ray florets	頭花の舌状花の形の数	観 察 (e)	1 2 3	1 2 3以上	one two more than two	フィゲラントピンク	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 舌状花の形の数を記録する。
- 形質30「頭花の型」が「1 舌状花なし」の品種を除く。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種は十分に展開した舌状花（内花弁も含む）で評価し、未熟な舌状花を除く。



1 (舌状)



2 (舌状、さじ状)



3 (舌状、さじ状、管状)

#### 参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	41	41 (* G	PQ (+) G	頭花の舌状花の 主要な形	Flower head: predominant type of ray floret	頭花の舌状花の主要な形	観 察 (e)	1 2 3 4 5	舌状 船底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped	フィゲランド・ピンク  アナスチア	観 賞 ぎ く は 形 質 95 に 記 載

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 頭花全体を観察して、舌状花の主要な1つの形を記録する。
- 形質30「頭花の型」が「1 舌状花なし」の品種を除く。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種は十分に展開した舌状花（内花弁も含む）で評価し、未熟な舌状花を除く。
- 状態の定義
  - 1 舌状：平もしくは、先端部だけ内に曲がっているもの、側部だけ内に曲がっているもの。
  - 2 船底状：先端部と側部が内に曲がっているもの。筒部の長さ（軸を含む）が全体の1/3程度であっても、開口部が内に曲がっているもの。
  - 3 さじ状：明確に筒部部分が存在し、筒部の長さ（軸を含む）が全体の1/3を超えるもの。
  - 4 管状：筒部（軸を含む）の割合が概ね9割以上のもので、基部から先端部まで概ね同じ幅又は細くなっているもの。ただし、筒部が7～8割程度であっても、開口部が筒部より広がっていなければ管状とする。
  - 5 ロート状：明確に筒部部分が存在し、筒部が先端に向かって徐々に太くなるもの。



1 舌状



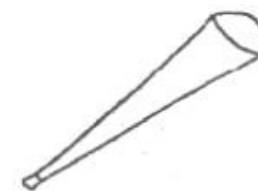
2 船底状



3 さじ状



4 管状



5 ロート状

軸



1 舌状



1 舌状

先端部が  
内曲している



1 舌状

側部が内曲  
している



2 船底状



2 船底状

舌状に近い  
船底状



2 船底状

筒部はある程度  
あるが船底状



3 さじ状



3 さじ状



3 さじ状



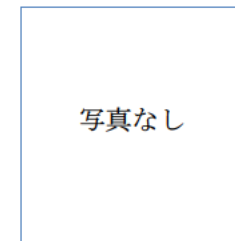
4 管状



4 管状



4 管状 (CPVO協議)



5 ロート状



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42	42 (*)	PQ (+)	頭花の舌状花の 二次的な形	Flower head: secondary type of ray floret	頭花の舌状花の二次的な 形	観 察 (e)	1 2 3 4 5	舌状 船底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped		観 賞 ぎ く は 形 質 96 に 記 載

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 頭花全体を観察して、舌状花で2番目に多い形を記録する。
- 全ての先端の頭花に共通して認められる場合に記録する。
- 形質30「頭花の型」が「1 舌状花なし」の品種を除く。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種は十分に展開した舌状花（内花弁も含む）で評価し、未熟な舌状花を除く。
- 写真は、主な形と二次的な形の評価が入れ替わっても対応できるように、並べ方を変えて複数パターン撮影する。
- 状態の定義
  - 1 舌状：平もしくは、先端部だけ内に曲がっているもの、側部だけ内に曲がっているもの。
  - 2 船底状：先端部と側部が内に曲がっているもの。筒部の長さ（軸を含む）が全体の1/3程度であっても、開口部が内に曲がっているもの。
  - 3 さじ状：明確に筒部部分が存在し、筒部の長さ（軸を含む）が全体の1/3を超えるもの。
  - 4 管状：筒部（軸を含む）の割合が概ね9割以上のもので、基部から先端部まで概ね同じ幅又は細くなっているもの。ただし、筒部が7～8割程度であっても、開口部が筒部より広がっていなければ管状とする。
  - 5 ロート状：明確に筒部部分が存在し、筒部が先端に向かって徐々に太くなるもの。
- 説明図及び参考写真については、形質41を参照。

#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	43	43	PQ (+)	頭花の舌状花の 三次的な形	Flower head: tertiary type of ray floret	頭花の舌状花の三次的な 形	観 察 (e)	1 2 3 4 5	舌状 船底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped		観 賞 ぎ く は 形 質 97 に 記 載

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 頭花全体を観察して、舌状花で3番目に多い形を記録する。
- 全ての先端の頭花に共通して認められる場合に記録する。
- 形質30「頭花の型」が「1 舌状花なし」の品種を除く。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種は十分に展開した舌状花（内花弁も含む）で評価し、未熟な舌状花を除く。
- 状態の定義
  - 1 舌状：平もしくは、先端部だけ内に曲がっているもの、側部だけ内に曲がっているもの。
  - 2 船底状：先端部と側部が内に曲がっているもの。筒部の長さ（軸を含む）が全体の1/3程度であっても、開口部が内に曲がっているもの。
  - 3 さじ状：明確に筒部部分が存在し、筒部の長さ（軸を含む）が全体の1/3を超えるもの。
  - 4 管状：筒部（軸を含む）の割合が概ね9割以上のもので、基部から先端部まで概ね同じ幅又は細くなっているもの。ただし、筒部が7～8割程度であっても、開口部が筒部より広がっていなければ管状とする。
  - 5 ロート状：明確に筒部部分が存在し、筒部が先端に向かって徐々に太くなるもの。
- 説明図及び参考写真については、形質41を参照。

#### 参考事項

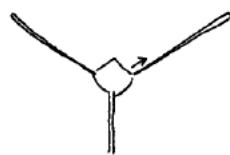
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	44 (*)	QN (+)	舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties (see char. 30): Ray floret: attitude of basal part	頭花の舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種（形質30 参照）に限る。）	観察  (e)	3  5 7	斜上  水平 斜下	moderately ascending horizontal moderately descending	Vymini	

調査時期

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

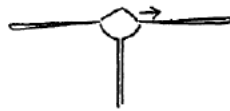
調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「2 一重」及び「3 半八重」の品種に限る。なお、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種については、形質98で調査する。
- 舌状花の基部の水平面に対する向きを記録する。
- 基部から先端への角度ではなく、基部の立ち上がりの角度で評価する。



( +45° ~ +30° )

3 斜上



( +15° ~ -15° )

5 水平



( -30° ~ -45° )

7 斜下

※審査基準の図を引用



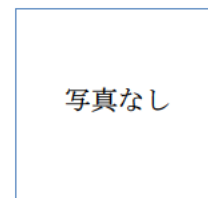
2 かなり斜上



3 斜上



5 水平



7 斜下

参考事項

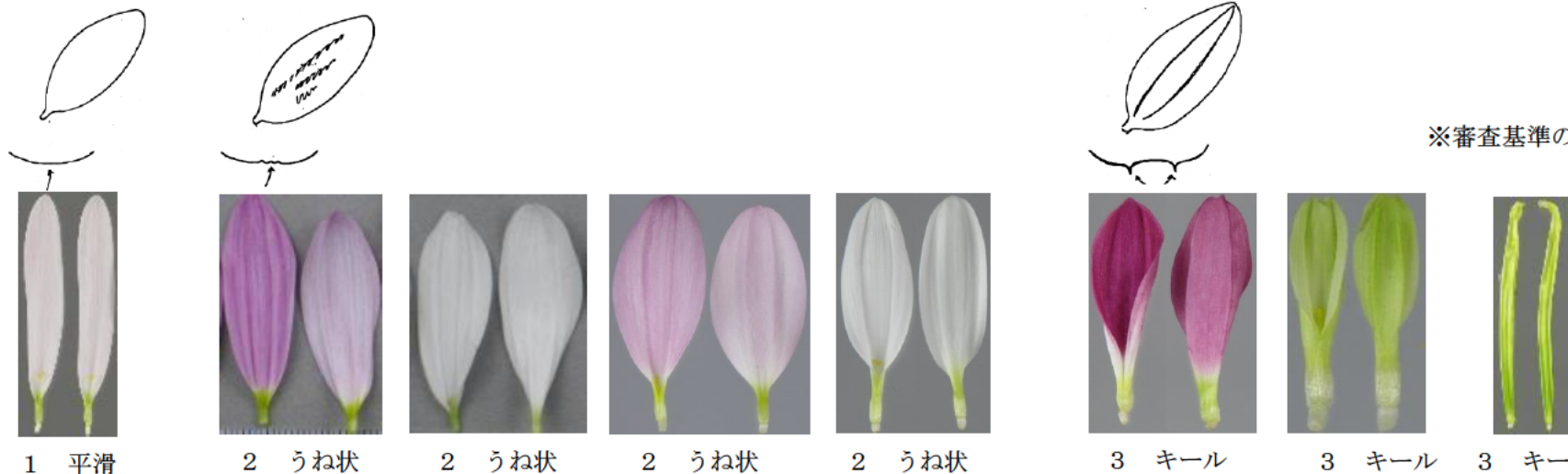
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
45	45	45	PQ (+)	舌状花の表面の 状態	Ray floret: upper surface	舌状花の表面の状態	観察 (e) (f)	1 2 3	平滑 うね状 キール	smooth ribbed keeled	フィゲラント・ピンク Vymini	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 状態の定義
  - 1 平滑：ほとんどすじ状のものがないもの。
  - 2 うね状：すじ状の突起があるもの。
  - 3 キール：花卉の中央にはっきりと角度が付いて（花卉が折れ曲がって）いる。なお、角張った印象が強ければ、先端までなくてもキールとする。ただし、形質41「頭花の舌状花の主要な形」で「4 管状」の品種の筒部部分は、花卉が筒状になり縁が癒合した状態であり、癒合部分（1か所）がすじ状で角度が付いていてもキールとしない。（CPVO協議）



#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	46	PQ (+)	舌状花のキール の数	Ray floret: number of keels	舌状花のキールの数	観 察  (e)  (f)	1 2 3	1 2 3以上	one two more than two	Vymini	

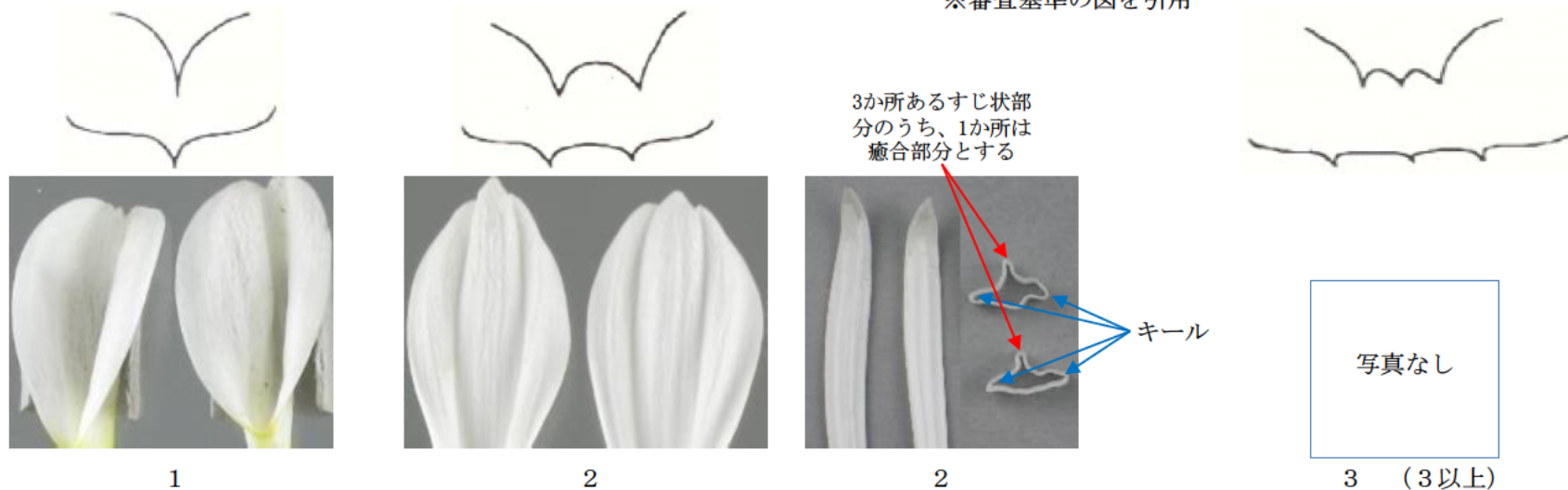
**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 形質45「舌状花の表面の状態」が「3 キール」の品種に限る。
- 舌状花のキールの数について記録する。
- 形質41「頭花の舌状花の主要な形」で「4 管状」の品種の筒部部分は、花弁が筒状になり縁が癒合した状態であり、癒合部分（1か所）がすじ状で角度が付いていてもキールには数えない。（CPVO協議）

※審査基準の図を引用



**参考事項**



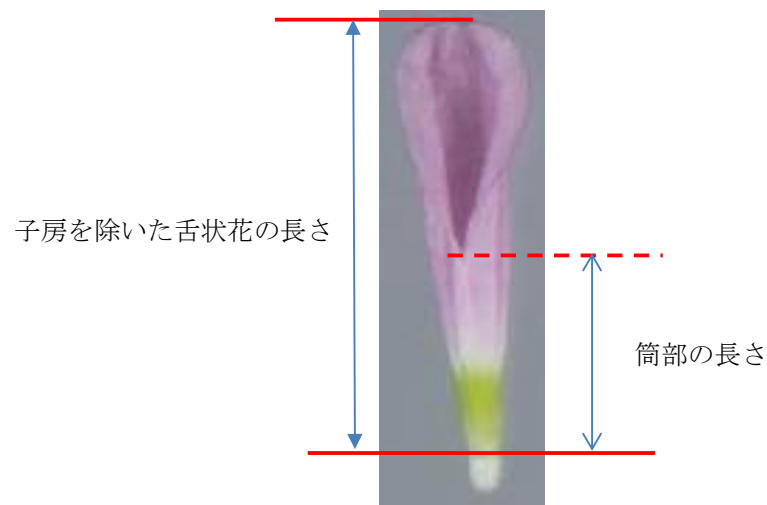
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
47	47	47 (*)	QN	舌状花の花筒の長さ	Ray floret: length of corolla tube	舌状花の花筒の長さ	測定 (e) (f) mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	錦かざぐるま	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 測定となっているが、舌状花に対する花筒の長さの割合を観察し評価する。
- 「花筒の長さ/子房を除いた舌状花の長さ」を計算し、評価の目安にする。
- 筒部の無い品種は「1 極短」として評価する。
- 基部の子房部分は花筒に含まない。





筒部の長さ

1  
極短  
(筒部無し)

1  
極短

2  
かなり短

3  
短

4  
やや短

5  
中

6  
やや長

7  
長

8  
かなり長

9  
極長

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48 ～ 49	48	48 (*)	QN (+)	舌状花の最大幅部の横断面の形 (管状でない舌状花)	Ray floret: profile in cross section at widest point (non-quilled florets)	舌状花の最大幅部の横断面の形 (管状でない舌状花に限る。)	観察  (e)  (f)	1  2  3 4  5 6 7 8 9 10  11	縁が重なる強い凹  縁が接する強い凹  強い凹 やや凹  わずかに凹 平 わずかに凸 やや凸 強い凸 縁が接する強い凸  縁が重なる強い凸	strongly concave with margins overlapping  strongly concave with margins touching  strongly concave moderately concave  weakly concave flat weakly convex moderately convex strongly convex strongly convex with margins touching  strongly convex with margins overlapping		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 最も外側の花卉が「管状」の品種を除く。
- 舌状花には頭花から引き抜くと開くものもあるため、頭花の状態で最大幅部の横断面の形を評価する。ただし、最大幅部の位置は舌状花を広げて特定する。

※審査基準の図を引用



1 縁が重なる強い凹



2 縁が接する強い凹



3 強い凹



4 やや凹



5 わずかに凹



6 平



7 わずかに凸



8 やや凸



9 強い凸



10 縁が接する強い凸



11 縁が重なる強い凸



1 縁が重なる強い凹



2 縁が接する強い凹



3 強い凹



4 やや凹



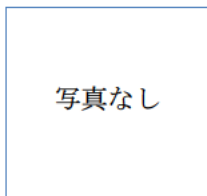
5 わずかに凹



6 平



7 わずかに凸



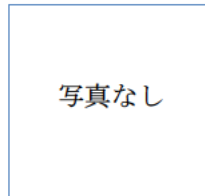
写真なし

8 やや凸



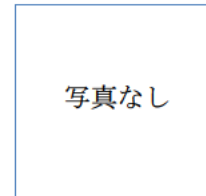
31

9 強い凸



写真なし

10 やや縁が接する強い凸



写真なし

11 縁が重なる強い凸

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	49	49	QN (+)	舌状花の周縁の 巻き方（管状で ない舌状花）	Ray floret: rolling of margin (non- quilled florets)	舌状花の周縁の巻き方 （管状でない舌状花に限 る。）	観察 (e)  (f)	1 2  3 4  5 6  7	強い内巻き 内巻き  弱い内巻き 平(巻かない)  弱い外巻き 外巻き  強い外巻き	strongly involute moderately involute  weakly involute flat (not rolled)  weakly revolute moderately revolute  strongly revolute	フィグランド <sup>®</sup> ピンク	

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 最も外側の花弁が「管状」の品種を除く。
- 舌状花の横断面から見た周縁の巻き方について記録する。
- 1つの舌状花に複数の異なる状態がある場合、形質番号50「舌状花の周縁の巻く部分の位置（管状でない舌状花）」との関係において、以下のとおり整理する。
  - ・巻きの強弱と位置割合が同等の場合、先端側の巻きを評価する。（例：先端部1/4, 外巻きと基部1/4, 内巻きの場合、先端部1/4, 外巻き評価）
  - ・巻きの強弱が同等で位置割合が異なる場合、巻く位置割合が大きい方を評価する。（例：先端部1/4, 外巻きと基部1/2, 内巻きの場合、基部1/2, 内巻き評価）
  - ・平(巻かない)と巻く部分が混在する場合、巻く部分を評価する。（例：基部3/4, 平と先端部1/4, 弱い外巻きの場合、先端部1/4, 弱い外巻き評価）
  - ・巻きの強弱が異なる場合は、位置割合に関係なく、巻きの強い方を評価する。（例：先端部1/4, 外巻きと基部3/4, 弱い内巻きの場合、先端部1/4, 外巻き評価）



1 強い内巻き



2 内巻き



3 弱い内巻き



4 平 (巻かない)



5 弱い外巻き



6 外巻き



7 強い外巻き

※審査基準の図を引用



1 強い内巻き



2 内巻き

(基部から)

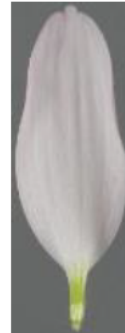


3 弱い内巻き

(基部から)



4 平 (巻かない)



5 弱い外巻き

(先端部から)  
(裏面から見た状態)



6 外巻き

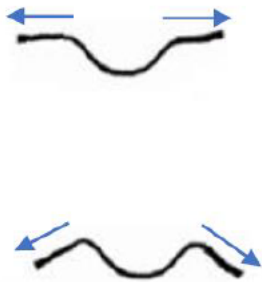
(先端部から)  
(裏面から見た状態)



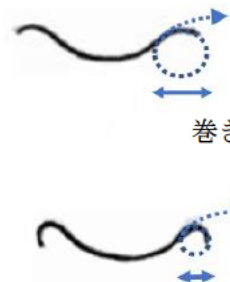
7 強い外巻き

(先端部から)  
(裏面から見た状態)

※右2図のとおり、  
変曲点を基準に、  
まっすぐ延びてい  
る場合は「平 (巻  
かない)」とする。



※右2図のとおり、先  
端に曲がりが見え、そ  
の延長をなぞると径の  
大小はあっても巻き込  
むようになるものを  
「巻き」として評価す  
る。



巻きが弱い

巻きが強い

※右図、変曲点より  
まっすぐ延びているが、  
先端は先端に曲がり  
があり、巻き込むよう  
になっているので、「巻  
き」として評価する。



参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	50	50	PQ	舌状花の周縁の 巻く部分の位置 (管状でない舌 状花)	Ray floret: position of part with rolled margin (non- quilled florets)	舌状花の周縁の巻く部分 の位置 (管状でない舌状花に限 る。)	観察  (e)  (f)	1  2  3  4  5  6  7  8	基部から1/4 まで 基部から1/2 まで 基部から3/4 まで 中央部 先端部から 3/4まで 先端部から 1/2まで 先端部から 1/4まで 至る所	basal quarter  basal half  basal three quarters  middle half distal three quarters  distal half  distal quarter  throughout		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 最も外側の花弁が「管状」の品種を除く。
- 形質49「舌状花の周縁の巻き方」が「4平」の品種を除く。
- 舌状花開口部の横断面から見た周縁の巻き方の巻く部分の位置について記録する。



1  
基部から  
1/4まで  
(内卷)



2  
基部から  
1/2まで  
(内卷)



3  
基部から  
3/4まで  
(内卷)



4  
中央部  
(内卷)



5  
先端部から  
3/4まで  
(外卷)



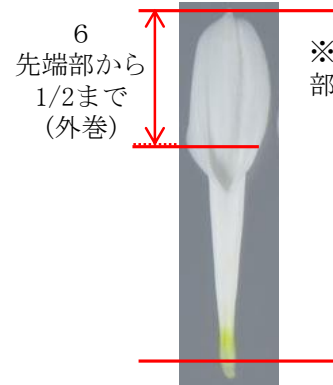
6  
先端部から  
1/2まで  
(外卷)



7  
先端部から  
1/4まで  
(外卷)



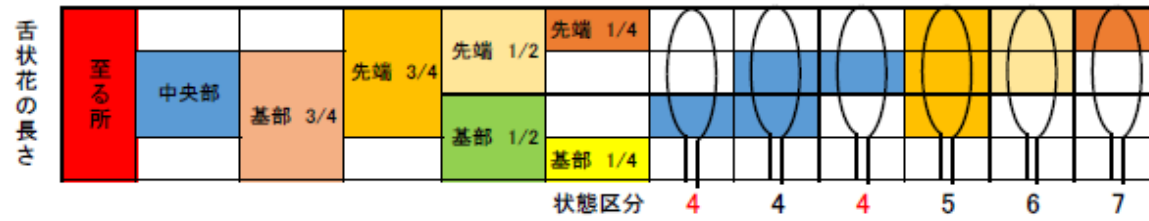
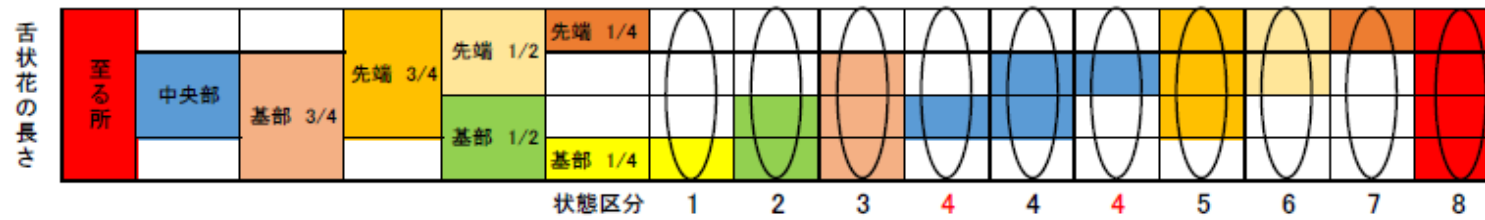
8  
至る所  
(内卷)



6  
先端部から  
1/2まで  
(外卷)

※舌状花全体に占める巻く部分の位置で評価する。

- 以下を目安として評価する。評価は舌状花全体に占める巻く部分の位置を基本とする。（CPVOへの聞き取りの結果による。）



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
52	51	51	PQ	舌状花の筒部の形（ロート状、さじ状及び管状の舌状花）	Ray floret: profile of tube (funnel shaped, spatulate and quilled florets)	筒部の横断面の形（ロート状、さじ状及び管状の舌状花に限る。）	観察 (e) (f)	1 2 3 4	円形 扁円形 平形 三角形	circular oblate flattened triangular	ビアリッツ  アナスタシア	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 最も外側の花弁が「さじ状」、「管状」及び「ロート状」の品種に限る。
- 舌状花の筒部の中央部横断面の形について観察する。
- 状態の定義
  - 1 円形：概ね円形状のもの。
  - 2 扁円形：楕円形、または不定形なもの。
  - 3 平形：扁平であるもの。
  - 4 三角形：明確な3頂点があり、頂点間を結ぶと三角形となるもの。



1 円形



2 扁円形



2 扁円形



2 扁円形



3 平形



3 平形



4 三角形



4 三角形

#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	52	52 (*)	PQ (+)	舌状花の縦断面 の形状	Ray floret: longitudinal axis	舌状花の縦断面の形状	観察 (e) (f)	1 2 3 4 5 6	内曲 平 外反 曲りくねる よじれ つまおれ	incurving straight reflexing sinusoidal twisted broken	神馬 Vymini	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 舌状花の縦断面の形状について記録する。
- 舌状花基部の総ほうに隠れている筒部は評価対象とせず、頭花の状態で見える部分の状態を評価する。
- 頭花の舌状花の縦断面の形状に複数の状態があっても、主な状態を評価する。
- 状態の定義
  - 1 内曲：舌状花が花の中心部へ向かって曲がっているもの。
  - 2 平：平らなもの。なお、僅かな曲がりも平の範囲とする。
  - 3 外反：舌状花が花の外側へ向かって曲がっているもの。
  - 4 曲りくねる：舌状花に横断面のねじれが無く内曲、外反等の曲がりがあるもの。
  - 5 よじれ：舌状花を上から見て表面が1回以上横向きになるもの。
  - 6 つまおれ：舌状花に明確な曲がり角のあるもの。

※審査基準の図を引用



1 内曲



2 平



3 外反



4 曲りくねる



5 よじれ



6 つまおれ



1 内曲



1 内曲



1 内曲



2 平



2 平



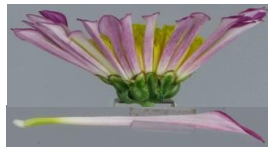
2 平



2 平  
総ほうに隠れている  
部分は評価しない



2 平



2 平



3 外反



3 外反



3 外反



4 曲りくねる



5 よじれ



5 よじれ



6 つまおれ

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	53	53	QN	舌状花の縦断面の平でない部位 (平でない舌状花)	Ray floret: longitudinal axis: part not straight (non-straight florets)	舌状花の縦断面の形状が平でない部分の割合 (平でない舌状花に限る。)	観察  (e)  (f)	3  5  7	先端部から1/4 先端部から1/2 先端部から3/4	distal quarter distal half distal three quarters		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 形質52「舌状花の縦断面の形状」が「2 平」の品種を除く。
- 舌状花の縦断面の形状が平でない部分の割合について記録する。
- 舌状花基部の総ほうに隠れている筒部は評価対象とせず、頭花の状態で見える部分の状態を評価する。
- 階級値 3, 5, 7の三段階で評価する。(例えば、「先端部から1/8」の状態でも、「3 先端部から1/4」に評価する。)



3 先端部から1/4



3 先端部から1/4



5 先端部から1/2



5 先端部から1/2



7 先端部から3/4



7 先端部から3/4



3 先端部から1/4



3 先端部から1/4



5 先端部から1/2



5 先端部から1/2



7 先端部から3/4



7 先端部から3/4

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	54	54	QN (+)	舌状花の縦断面の湾曲の強弱 (平でない舌状花)	Ray floret: longitudinal axis: strength of curvature (non- straight florets)	舌状花の縦断面の湾曲の強弱 (平でない舌状花に限る。)	観察  (e)  (f)	3  5  7	弱  中  強	weak  medium  strong		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 形質52「舌状花の縦断面の形状」が「2 平」の品種を除く。
- 舌状花の縦断面の湾曲の強弱について記録する。
- 舌状花の縦断面の平でない部位から先端部にかけての湾曲と先端部の向きを総合的に評価する。
- 舌状花基部の総ほうに隠れている筒部は評価対象とせず、頭花の状態で見える部分の状態を評価する。

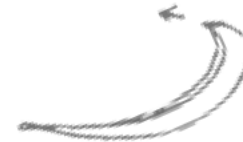
● 下図は内曲の場合を示している。なお、外反も下図と同様に評価する。



3 弱



5 中



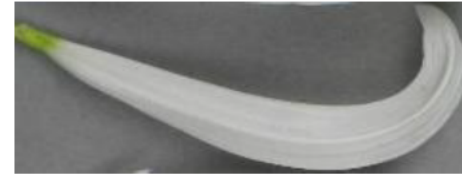
7 強



3 弱



5 中



7 強



弱



5 中



7 強

※審査基準の図を引用

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	55	55	PQ (+)	舌状花の内花弁の縦断面の形状(外花弁と異なる場合。半八重、露心する八重及び八重品種に限る。)	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s) (if different from outer row)</u>	舌状花の内花弁の縦断面の形状(外花弁と異なる場合のみ)(半八重、露心する八重及び八重品種(形質30参照)に限る。)	観察 (e) (f)	1 2 3 4 5 6	内曲 平 外反 曲りくねる よじれ つまおれ	incurving straight reflexing sinusoidal twisted broken		
<p><b>調査時期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開花盛期：半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。</li> </ul> <p><b>調査方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (e)：先端の頭花について記録する。</li> <li>● (f)：もし舌状花がなければ調査しない。</li> <li>● 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種に限る。</li> <li>● 半八重品種の場合は、最も内側の列の舌状花の縦断面の形状について記録する。</li> <li>● 露心する八重及び八重品種の場合は、先端の頭花の外側以外の列(外から4～6列目位)の舌状花の縦断面の形状について記録する。</li> <li>● 定義では形質52「舌状花の縦断面の形状」で観察した外花弁と状態区分が異なる場合のみとなっており、同じ場合は報告書には記載しないが、検定時の確認のため、外花弁と状態の区分が同じ場合でも記録する。</li> <li>● 説明図及び参考写真については、形質52を参照。</li> </ul>												
参考事項												

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	56	56	QN	舌状花の内花弁の縦断面（外花弁と異なる場合）の平でない部位（平でない舌状花で半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s) (if different from outer row): part not straight (non-straight florets)</u>	舌状花の内花弁の縦断面（外花弁と異なる場合のみ）の平でない部位（平でない舌状花に限る）（半八重、露心する八重及び八重品種（形質30参照）に限る。）	観察  (e)  (f)	3  5  7	先端部から1/4 先端部から1/2 先端部から3/4	distal quarter distal half distal three quarters		
<p><b>調査時期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開花盛期：半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。</li> </ul> <p><b>調査方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (e)：先端の頭花について記録する。</li> <li>● (f)：もし舌状花がなければ調査しない。</li> <li>● 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種に限る。</li> <li>● 形質55「舌状花の縦断面の形状」が「2 平」の品種を除く。</li> <li>● 半八重品種の場合は、最も内側の列の舌状花の縦断面の形状について記録する。</li> <li>● 露心する八重及び八重品種の場合は、先端の頭花の外側以外の列（外から4～6列目位）の舌状花の縦断面の形状について記録する。</li> <li>● 定義では形質53「舌状花の縦断面の平でない部分」で観察した外花弁と状態区分が異なる場合のみとなっており、同じ場合は報告書には記載しないが、検定時の確認のため、外花弁と状態の区分が同じ場合でも記録する。</li> <li>● 舌状花の縦断面の形状が平でない部分の割合について記録する。</li> <li>● 説明図及び参考写真については、形質53を参照。</li> </ul>												
<p>参考事項</p>												



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
58	57	57	QN (+)	舌状花の内花弁の縦断面（外花弁と異なる場合）の湾曲の強弱（平でない舌状花で半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s) (if different from outer row): strength of curvature (non-straight florets)</u>	舌状花の内花弁の縦断面（外花弁と異なる場合のみ）の湾曲の強弱（平でない舌状花に限る）（半八重、露心する八重及び八重品種（形質30参照）に限る。）	観察  (e)  (f)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
<p><b>調査時期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開花盛期：半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。</li> </ul> <p><b>調査方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (e)：先端の頭花について記録する。</li> <li>● (f)：もし舌状花がなければ調査しない。</li> <li>● 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種に限る。</li> <li>● 形質55「舌状花の縦断面の形状」が「2 平」の品種を除く。</li> <li>● 半八重品種の場合は、最も内側の列の舌状花の縦断面の形状について記録する。</li> <li>● 露心する八重及び八重品種の場合は、先端の頭花の外側以外の列（外から4～6列目位）の舌状花の縦断面の形状について記録する。</li> <li>● 定義では形質54「舌状花の縦断面の湾曲の強弱」で観察した外花弁と状態区分が異なる場合のみとなっており、同じ場合は報告書には記載しないが、検定時の確認のため、外花弁と状態の区分が同じ場合でも記録する。</li> <li>● 説明図及び参考写真については、形質54を参照。</li> </ul>												
<p>参考事項</p>												

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
59	58	58 (*)	QN	舌状花の長さ	Ray floret: length	舌状花の長さ	測定 (e) (f) mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ヨカタラ フィグランド <sup>®</sup> ピンク セイローザ <sup>®</sup>	観賞 ぎ くは形 質101に 記載

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 典型的な舌状花（必ずしも最大のものとは限らない）の最長部を測定する。
- 舌状花が湾曲している場合は、押し広げて測定する。
- 基部の子房部分を含めず測定する。



#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	59	59 (*)	QN	舌状花の幅	Ray floret: width	舌状花の幅	測定 (e) (f) mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ヨカタラ、Vymini フィゲラント <sup>®</sup> ピンク セイローザ <sup>®</sup>	観賞 ぎ く は 形 質 102 に 記 載

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 典型的な舌状花（必ずしも最大のものとは限らない）の最大幅を測定する。
- 自然状態で測定する。



#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
61	60	60 (*)	QN	舌状花の長さ／ 幅	Ray floret: ratio length/width	舌状花の長さ／幅の比	測定 (e) (f) 比	3 5 7	低 中 高	low medium high	Vymini 神馬	観賞 ぎ くは形 質103に 記載

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 典型的な舌状花（必ずしも最大のものとは限らない）を調査する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
62	61	61	PQ (+)	舌状花の先端の形	Ray floret: shape of tip	舌状花の先端の形	観察 (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7 8	尖る 丸 切型 窪む 歯状 突起状 浅い切込み 深い切込み	pointed rounded truncate emarginate dentate mamillate fringed lacinate	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク  Dekyen セイローサ <sup>®</sup>	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 典型的な舌状花の先端部の形を調査する。
- 先端部が湾曲しているものは伸ばした状態を評価する。
- 状態の定義
  - 1 尖る：肩が無く先端部が尖るもの。
  - 2 丸：概ね丸いもの。僅かな切れ込みや窪みは、概ね丸いとする。
  - 3 切型：平らなもの。
  - 4 窪む：先端部が窪み、凹んでいるもの。
  - 5 歯状：僅かに裂けていたり、先端部が丸くならずギザギザなもの。
  - 6 突起状：先端部の尖りや丸みに関係なく、肩があって突起状のもの。
  - 7 浅い切込み：先端部が浅く裂けているもの。ただし、歯状よりも切れ込みは深い。
  - 8 深い切込み：先端部が深く裂けているもの。

※審査基準の図を引用



1 尖る



2 丸



3 切型



4 窪む



5 歯状



6 突起状



7 浅い切込み



8 深い切込み



1 尖る



1 尖る



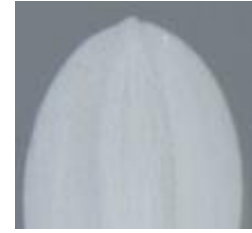
2 丸



2 丸  
(僅かな窪み)



2 丸



2 丸



写真なし

3 切型



4 窪む

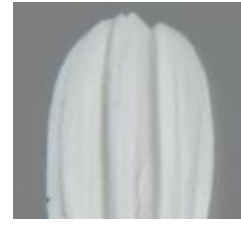
4 窪む



5 歯状



5 歯状



5 歯状



6 突起状



6 突起状



6 突起状



7 浅い切込み



8 深い切込み



8 深い切込み



8 深い切込み

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
63	62	62 (*)	QL G	舌状花の表面の色数	Ray floret: number of colors of inner side	舌状花の表面の色数	観察 (e) (f)	1 2 3	1 2 3以上	one two more than two	フィグランドピンク	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 調査は、抜き取った舌状花で行い、花盤に隠れているかどうかは考慮しない。
- 色が同じ色相の中で濃色から淡色となるような同一ページRHSカラーチャート番号内で連続している場合であれば単色とする。
- 形質41 舌状花の主要な形が「3 さじ状」、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種については、花の正面から見える花筒部の外面の色は、舌状花の裏面の色として評価する。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。（CPVO協議）
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。
- 形質65「舌状花の表面の二次色の分布」で状態区分「8 基部」に該当する二次色が確認できる場合の評価方法については以下のとおりとする（種苗室協議結果）。
  - ・基部の着色が舌状花全てにある場合、色数として評価する。一部の舌状花のみの着色の場合、色数として評価しない。
  - ・舌状花の基部以外の色と基部の色のコントラスト及び明瞭度（その境界の線引きができるか）により色数を評価する。基部の色の面積が非常に小さくても、基部の色との境界に線が引ければ2色とする。なお、基部の色を評価する境界の指標として1色の標準品種である「フィグランド ピンク」や過去の栽培試験で1色で評価している「セイローザ」を目安にする。
  - ・基部の着色との境界がぼかし状であれば色数として評価しない。ただし、基部の着色に一定の面積がある場合は、境界がぼかし状でも色の対比が可能のため、色数として評価する。
  - ・基部の縁にだけ非常に細く見られるものは色数として評価しない。



1  
(RHS 72C)  
濃淡はあるが同じ色相



1  
(RHS 167C)  
遠目で見ると一色



1  
(RHS 179A) 裏面となる筒部の色は表面色ではない



1  
(RHS 75C) セイローザ、舌状花の基部に白色があるように見えるが、この程度は二次色と見なさない。



2  
(RHS 72A, NN155C)



2  
(RHS 53, 基部黄色) 舌状花基部の黄色は僅かであるが明確に確認できる。



2  
(RHS 9B, 163B)



2  
(RHS 4C, 63A)



2  
(RHS 71A, 155B)



2  
(RHS 46A, 4A)



3  
(RHS NN74D, 155C, N144D)



この程度の濃淡の品種は、舌状化の表面の色数を「2」と判定しない。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
64	63	63 (*)	PQ G	舌状花の表面の 主な色	Ray floret: <u>main</u> color of inner side	舌状花の表面の主な色	測定 (e) (f) (g)		RHSカラーチャートの 色票番号によ る	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- (g)：主たる色は、全体で最も大きな表面積を持つ色。  
ただし、形質66「舌状花の表面の二次色の型」が「1 一様又はほぼ一様」となる品種についてのみ、主な色と二次色が同じ割合であれば、先端部の色を主な色とする。(CPVO協議)
- 典型的な舌状花を抜き取って観察し、表面の主な色をRHSカラーチャートで記録する。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。(CPVO協議)
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。



主な色 46B(赤)



主な色 26B(橙)



主な色 7C(黄)



主な色 3C(黄)



主な色 3B(黄)



主な色 179A(赤茶)



主な色 19A(橙茶)

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	64	64 (*)	PQ G	舌状花の表面の 二次色	Ray floret: <u>second</u> color of inner side	舌状花の表面の二次色	測定 (e) (f) (g)		RHSカラーチャートの 色票番号によ る	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- (g)：二次色は全体で2番目に大きな表面積を持つ色。  
ただし、形質66「舌状花の表面の二次色の型」が「1 一様又はほぼ一様」となる品種についてのみ、主な色と二次色が同じ割合であれば、基部の色を表面の二次色とする。(CPVO協議)
- 形質62「舌状花の表面の色数」が「1」以外の場合にRHSカラーチャートで記録する。
- 典型的な舌状花を抜き取って観察し、表面の二次色を調査する。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。(CPVO協議)
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。



二次色 9A(黄)



二次色 7A(黄)



二次色 45C(赤)



二次色 53B(暗赤紫)

#### 参考事項



V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
66 ～ 67	65	65 (*)	PQ (+)	舌状花の表面の 二次色の分布	Ray floret: distribution of <u>second</u> color of inner side	舌状花の表面の二次色の 分布	観 察 ( e ) ( f ) ( g )	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部1/4 先端部1/2 先端部3/4 基部3/4 基部1/2 基部1/4 基部 縁上 縁部 中央部の縦線 横断 (帯状) 至る所	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin on marginal zone central bar transverse zone [band] throughout		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- ( e ) : 先端の頭花について記録する。
- ( f ) : 舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- ( g ) : 二次色は全体で2番目に大きな表面積を持つ色。
- 形質62「舌状花の表面の色数」で「1」以外の場合に記録する。
- 典型的な舌状花を抜き取って観察し、表面の二次色の分布を調査する。
- 形質63、64との関係に基づいて二次色の分布を評価する。なお、状態が複数ある場合は、頭花全体を見てより目立つ状態を選択する。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。（CPVO協議）
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。





1  
先端



2  
先端部1/4



3  
先端部1/2



4  
先端部3/4



5  
基部3/4



6  
基部1/2



7  
基部1/4



8  
基部



9  
縁上



10  
縁部



11  
中央部の縦線



12  
横断(带状)



13  
至る所

※審査基準の図を引用



1  
先端  
(二次色 白)



1  
先端  
(二次色 黄)



2  
先端部1/4  
(二次色 黄)



2  
先端部1/4  
(二次色 白)



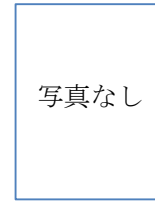
3  
先端部1/2  
(二次色 赤)



4  
先端部3/4  
(二次色 赤)



5  
基部3/4  
(二次色 暗赤紫)



6  
基部1/2



7  
基部1/4  
(二次色 黄)



8  
基部  
(二次色 黄)



8  
基部  
(二次色 白)



9  
縁上  
(二次色 白)



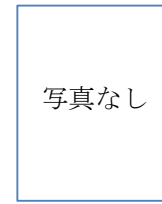
10  
縁部  
(二次色 白)



10  
縁部  
(二次色 赤橙)



11  
中央部の縦線  
(二次色 赤茶)



12  
横断 (带状)



13  
至る所  
(二次色 暗赤紫)

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
68	66	66 (*)	PQ (+)	舌状花の表面の 二次色の型	Ray floret: pattern of <u>second</u> color of inner side	舌状花の表面の二次色の 型	観 察  (e) (f) (g)	1  2 3 4  5 6 7	一様又はほぼ 一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条  斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid  flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled	セア-ティストピ-ンク	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- (g)：二次色は全体で2番目に大きな表面積を持つ色。
- 形質62「舌状花の表面の色数」で「1」以外の場合に記録する。
- 典型的な舌状花を抜き取って観察し、表面の二次色の型を調査する。
- 形質63、64との関係に基づいて二次色の型を評価する。なお、状態が複数ある場合は、頭花全体を見てより目立つ状態を選択する。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。（CPVO協議）
- 状態の定義
  - 1 一様又はほぼ一様：二次色が、混ざりの無いまたはほとんど無い均一な部分として存在するもの。
  - 5 斑点：短い条は斑点とする。
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。

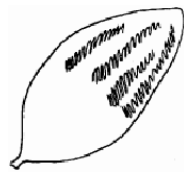
※審査基準の図を引用



1 一様又はほぼ一様



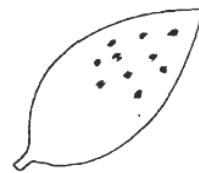
2 ぼかし



3 不明瞭な条



4 明瞭な条



5 斑点



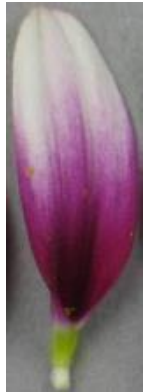
6 斑点及び条



7 まだら



1  
一様又は  
ほぼ一様



1  
一様又は  
ほぼ一様



1  
一様又は  
ほぼ一様



1  
一様又は  
ほぼ一様



2  
ぼかし



2  
ぼかし



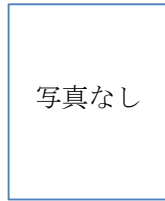
2  
ぼかし



3  
不明瞭な条

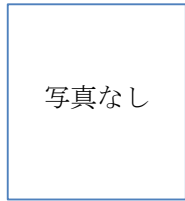


3  
不明瞭な条



写真なし

4  
明瞭な条

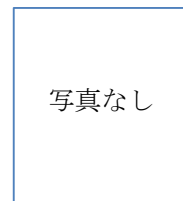


写真なし

5  
斑点



6  
斑点及び条



写真なし

7  
まだら

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
69	67	67	PQ	舌状花の表面の 三次色	Ray floret: <u>third</u> color of inner side	舌状花の表面の三次色の 色	測定 (e) (f) (g)		RHSカラーチャートの 色票番号によ る	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- (g)：三次色は全体で3番目に大きな表面積を持つ色。
- 形質62「舌状花の表面の色数」が「3」の場合にRHSカラーチャートで記録する。
- 典型的な舌状花を抜き取って観察し、表面の三次色を調査する。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。（CPVO協議）
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。

**参考事項**

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
70 ～ 71	68	68	PQ (+)	舌状花の表面の 三次色の分布	Ray floret: distribution of <u>third</u> color of inner side	舌状花の表面の三次色の 分布	観 察 ( e ) ( f ) ( g )	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部1/4 先端部1/2 先端部3/4 基部3/4 基部1/2 基部1/4 基部 縁上 縁部 中央部の縦線 横断 (帯状) 至る所	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin on marginal zone central bar transverse zone [band] throughout		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- ( e ) : 先端の頭花について記録する。
- ( f ) : 舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- ( g ) : 三次色は全体で3番目に大きな表面積を持つ色。
- 形質62「舌状花の表面の色数」が「3」の場合にRHSカラーチャートで記録する。
- 典型的な舌状花を抜き取って観察し、表面の三次色の分布を調査する。
- 形質63、64、67との関係に基づいて三次色の分布を評価する。なお、状態を複数選択する場合もある。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。（CPVO協議）
- 説明図については、形質65を参照。
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。

**参考事項**



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
72	69	69	PQ (+)	舌状花の表面の 三次色の型	Ray floret: pattern of <u>third</u> color of inner side	舌状花の表面の三次色の 型	観 察  (e) (f) (g)	1  2 3 4  5 6 7	一様又はほぼ 一様  ぼかし  不明瞭な条  明瞭な条  斑点  斑点及び条  まだら	solid or nearly solid  flushed  diffuse stripes  clearly defined stripes  flecked  flecked and striped  mottled		

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 形質62「舌状花の表面の色数」が「3」の場合にRHSカラーチャートで記録する。
- 典型的な舌状花を抜き取って観察し、表面の三次色の型を調査する。
- (g)：三次色は全体で3番目に大きな表面積を持つ色。
- 形質63、64、67との関係に基づいて三次色の型を評価する。なお、状態を複数選択する場合もある。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」の品種は筒部開口部から先端部（筒部は開いて見ない）、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の色を調査する。（CPVO協議）
- 状態の定義
  - 1 一様又はほぼ一様：二次色が、混ざりの無いまたはほとんど無い均一な部分として存在するもの。
  - 5 斑点：短い条は斑点とする。
- 説明図については、形質66を参照。
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。

#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
73	70	70 (*)	QL	舌状花の表面と比較した裏面の色の類似性(ロート状、管状及びさじ状の花弁の花筒部を含む。)	Ray floret: color of outer side compared to inner side (including tube for funnel-shaped, quilled and spatulate florets)	舌状花の表面と比較した裏面の色の類似性(ロート状、管状及びさじ状の花弁の花筒部を含む)	観察 (e) (f)	1 2	類似する 著しく異なる	similar markedly different	フィゲラトピク 錦かざぐるま	

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種については、花の正面から見える花筒部の外面の色も舌状花の裏面の色として評価する。
- 状態の定義
  - 1 類似する：舌状花の表面の色と裏面の色がほぼ同じ色の場合。  
舌状花の表面の色と裏面の色が同じ色相で、濃色と淡色になる場合。
  - 2 著しく異なる：舌状花の表面の色と裏面の色の色相が異なる場合。  
舌状花の表面の色と裏面の色が同じ色相であっても、極端な濃淡となる場合。  
舌状花の表面が1色で裏面が2色、または表面が2色で裏面が1色のように表裏の色数が異なる場合。  
但し、主な色が類似するの範囲で二次色がわずかな面積の場合は除く。  
舌状花の表面、裏面ともに二次色があっても、主な色が「類似する」の整理の範囲内であれば、「著しく異なる」としない。
- 開花盛期前に舌状花が変色(アントシアニン着色等)または劣化(舌状花の褐変等)し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



1  
類似する



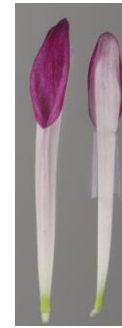
1  
類似する  
(表面は1色、裏面は2色。主な色は類似するの範囲で、裏面二次色わずか)



1  
類似する  
(表面は2色、裏面も2色。主な色が類似するの範囲)



1  
類似する  
(主な色は同色の濃淡)



2  
著しく異なる



2  
著しく異なる  
(表1色、裏2色。裏面二次色は黄色で表面と明らかに異なり、舌状花に占める割合も大きい。)



2  
著しく異なる

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
74	71	71 (*)	PQ	舌状花の裏面の色	Ray floret: color of the <u>outer</u> side, where markedly different to inner side	舌状花の裏面の色	測定 (e) (f)		RHSカラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 舌状花の裏面の色を記録する。
- 形質41「舌状花の主要な形」が「3 さじ状」、「4 管状」及び「5 ロート状」の品種については、花の正面から見える花筒部の外面の色も舌状花の裏面の色として評価する。
- 必要に応じ二次色、二次色の分布、三次色、三次色の分布（※）を記録する。  
（※）：部位の記載は、先端、先端部、基部、縁上、縁部、中央部の縦線、横断（帯状）、至る所、から適当な部位を選ぶ  
それぞれの型については報告書には記載しないが、参考までに記録する。
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。



73C  
N155B(基部)



75D  
150A(先端部)



70B  
69C(基部;縁部)



173D  
180B(中央部の縦線)



181C  
11B(基部)

#### 参考事項

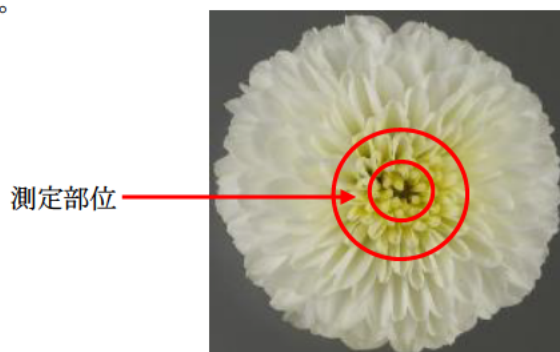
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
75	72	72	PQ	舌状花の内花弁の表面の色（半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties (see char. 30): Ray floret: color of <u>inner</u> side of <u>inner</u> row(s) (if different from outer row)</u>	舌状花の内花弁の表面の色 (半八重、露心する八重及び八重品種（形質30参照）に限る。)	測定 (e) (f)		RHSカラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

**調査時期**

- 開花盛期：半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：もし舌状花がなければ調査しない。
- 内花弁は、基本的には外側の列以外の舌状花であるが、中心付近の舌状花の色が他と異なる場合があるため、最中央部は除いて（CPVO協議）、下図の部分を測定する。
- 花弁を抜いて確認できる色を記録する。（CPVO協議）
- 必要に応じ二次色、二次色の分布、三次色、三次色の分布（※）を記録する。  
（※）：部位の記載は、先端、先端部、基部、縁上、縁部、中央部の縦線、横断（帯状）、至る所、から適当な部位を選ぶ  
それぞれの型については報告書には記載しないが、参考までに記録する。
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。



**参考事項**

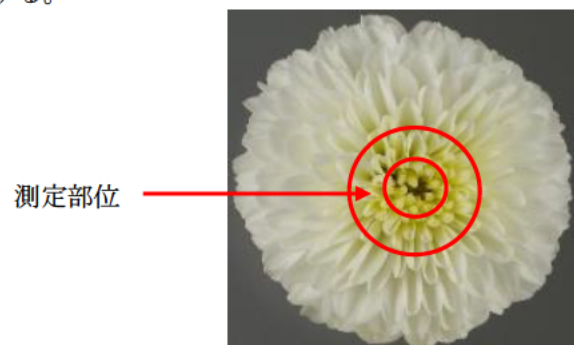
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
76	73	73	PQ	舌状花の内花弁の裏面の色（半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	<u>Only semi double, daisy-eyed double and double varieties (see char. 30):</u> Ray floret: color of outer side of inner row(s) (if different from outer row)	舌状花の内花弁の裏面の色（半八重、露心する八重及び八重品種（形質30参照）に限る。）	測定 (e) (f)		RHSカラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

#### 調査時期

- 開花盛期：半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：もし舌状花がなければ調査しない。
- 内花弁は、基本的には外側の列以外の舌状花であるが、中心付近の舌状花の色が他と異なる場合があるため、最中央部は除いて（CPVO協議）、下図の部分を測定する。
- 花弁を抜いて確認できる色を記録する。（CPVO協議）
- 必要に応じ二次色、二次色の分布、三次色、三次色の分布（※）を記録する。  
（※）：部位の記載は、先端、先端部、基部、縁上、縁部、中央部の縦線、横断（帯状）、至る所、から適当な部位を選ぶ  
それぞれの型については報告書には記載しないが、参考までに記録する。
- 開花盛期前に舌状花が変色（アントシアニン着色等）または劣化（舌状花の褐変等）し、願書の説明と異なる花色となってしまう品種については、そのようになる前に特性を評価する。





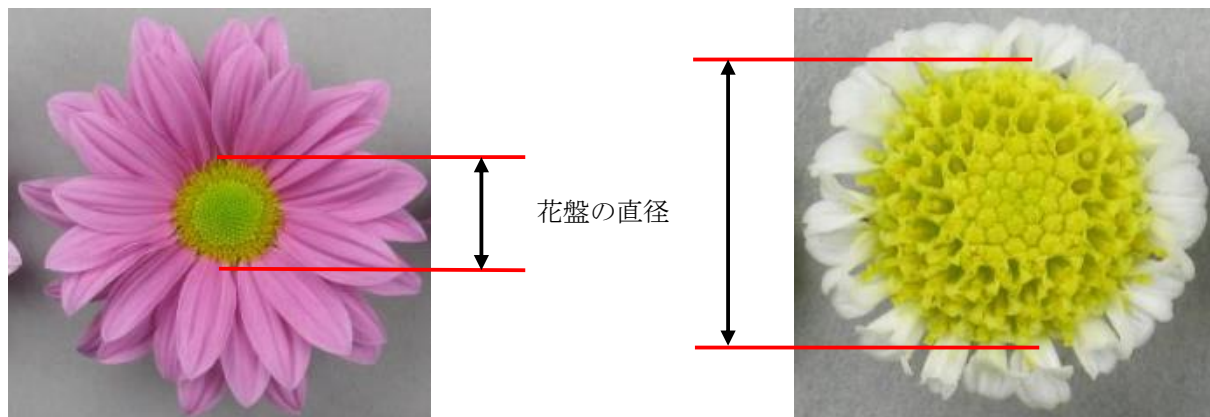
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
77	74	74	QN	花盤の直径（デ イジー型の一重 及び半八重品種 に限る。）	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30) which are daisy type (see char. 31):</u> Disc: diameter	花盤の直径 (デイジー型（形質31 参 照）の一重及び半八重品 種（形質30 参照）に限 る。）	測定 (e) mm	3 5 7	小 中 大	small medium large	フィグランド <sup>®</sup> ピンク セイローザ	

**調査時期**

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「2 一重」、「3 半八重」で形質31 花盤の型が「1 デイジー」型の品種の場合に測定する。
- 花盤の最大径を測定する。



**参考事項**



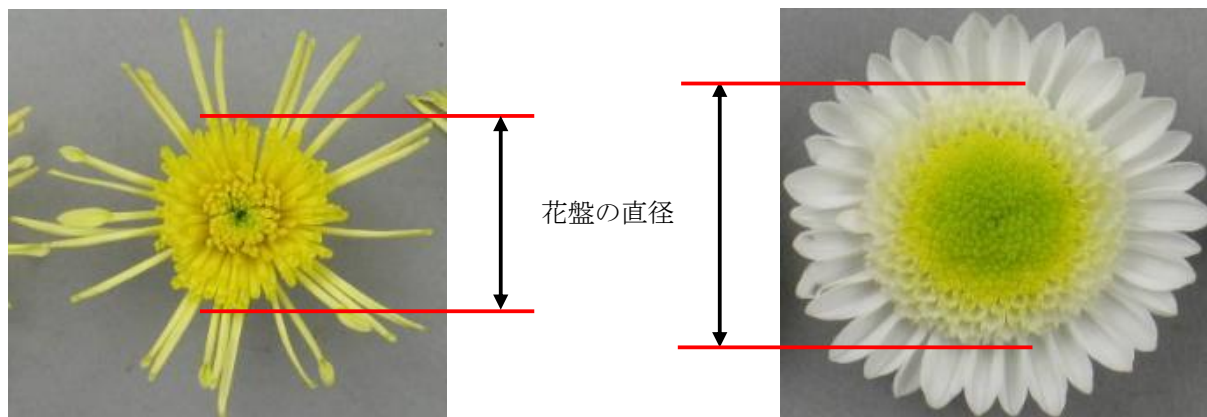
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
78	75	75	QN	花盤の直径（アネモネ型の一重及び半八重品種に限る。）	<u>Only single and semi double varieties (see char. 30) which are anemone type (see char. 31): Disc: diameter</u>	花盤の直径（アネモネ型（形質31参照）の一重及び半八重品種（形質30参照）に限る。）	測定 (e) mm	3 5 7	小 中 大	small medium large		

**調査時期**

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「2 一重」、「3 半八重」で形質31「花盤の型」が「2 アネモネ」型の品種の場合に測定する。
- 花盤の最大径を測定する。



**参考事項**

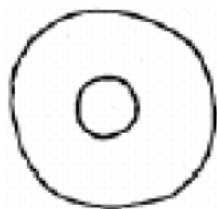
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
79	76	76 (*)	QN (+)	花盤の頭花に対する直径の大きさ（一重及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties (see char. 30): Disc: diameter relative to head diameter	花盤の頭花に対する直径の大きさ（一重及び半八重品種（形質30 参照）に限る。）	観察 (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク Vymini	

**調査時期**

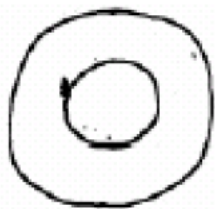
- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

**調査方法**

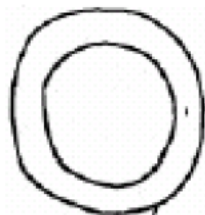
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「2 一重」、「3 半八重」の品種の場合に記録する。
- 頭花の最大径に対する花盤の最大径の占める大きさを記録する。
- 観察となっているが、形質32, 33「頭花の直径」の測定値と形質74, 75「花盤の直径」の測定値を使用し、花盤の直径÷頭花の直径=比で判定する。
- 下の図（審査基準より）は、CPVO標準品種の測定値から求めた比と一致しないため、標準品種と比較し、写真を参考に判定する。



3  
小



5  
中



7  
大

※審査基準の図を引用



3  
小



5  
中



7  
大



8  
かなり大



9  
極大

参考事項

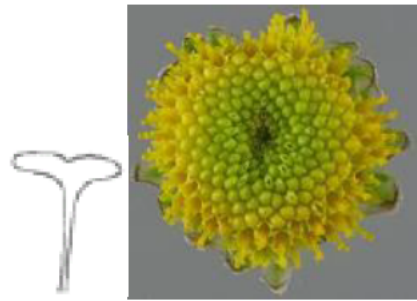
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
80	77	77	PQ (+)	花盤の断面の形 (デイジー型の 品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: profile in cross section	花盤の断面の形 (デイジー型の品種 (形 質31 参照) に限る。)	観 察 (e)	1 2 3 4 5 6	窪む 平 ややドーム状 やや円錐状 強いドーム状 強い円錐状	indented flat slightly domed slightly conical strongly domed strongly conical		

#### 調査時期

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「1 デイジー」型の品種の場合に記録する。
- 花盤の断面の形を記録する。
- 花たくの形ではなく、管状花を含んだ花盤断面で判定する。
- 開いた管状花を含めて判定すると図のような形状とならない場合があるため、開いた管状花の部分は除いて判定する。
- 1 窪む：花盤の中央部が窪んでいるもの。
- 2 平：花盤の盛り上がりも窪みもない平らなもの。
- 3 ややドーム状：花盤の中央部から舌状花側へ向かって曲線的で、中央部に尖りがなく高さのないもの。
- 4 やや円錐状：花盤の中央部から舌状花側へ向かって直線的で、中央部に尖りがあり高さのないもの。
- 5 強いドーム状：花盤の中央部から舌状花側へ向かって曲線的で、中央部に尖りがなく高さのあるもの。
- 6 強い円錐状：花盤の中央部から舌状花側へ向かって直線的で、中央部に尖りがあり高さのあるもの。



1 窪む



2 平



3 ややドーム状



4 やや円錐状



5 強いドーム状



6 強い円錐状

※審査基準の図を引用

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
81 ～ 82	78	78 (* )	PQ	花盤の開やく前の色の区分 (デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color group before anther dehiscence	花盤の開やく前の色の区分 (デイジー型の品種 (形質31 参照) に限る。)	観察 (e) (h)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	白 緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 赤褐 褐 褐黒 紫黒	whitish green yellowish green light yellow medium yellow yellow orange reddish brown brown brownish black purplish black	フィゲラント <sup>®</sup> ピンク	

調査時期

- (h) : つぼみが開いた後で、先端の頭花の花盤の管状花が裂開し始める前に調査する。

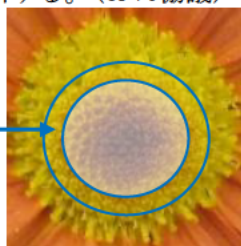
調査方法

- (e) : 先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「1 デイジー」型の品種の場合に記録する。
- 花盤全体の主な色の区分を記録する。
- 暗色スポットがある場合は、その部分は除いた花盤の色で判断する。(CPVO協議)



暗色スポット無

花盤の開やく前の色



暗色スポット有





1 白



2 緑



2 緑



3 黄緑



3 黄緑



3 黄緑



3 黄緑



3 黄緑



4 淡黄



4 淡黄



4 淡黄



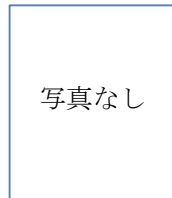
5 黄



5 黄



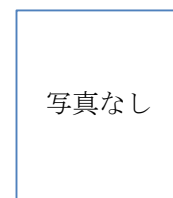
6 黄橙



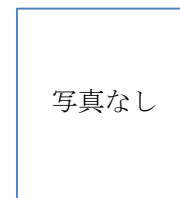
7 橙



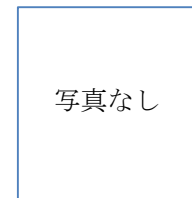
8 赤褐



9 褐



10 褐黒



11 紫黒

参考事項



V I P S №	形質 番号	U P O V №	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
83	79	79 (* )	QL	花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無(デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: presence of dark spot at centre before anther dehiscence	花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無(デイジー型の品種(形質31 参照)に限る。)	観察 (e) (h)	1 9	無 有	absent present	ハゲクダ	

調査時期

- (h) : つぼみが開いた後で、先端の頭花の花盤の管状花が裂開し始める前に調査する。

調査方法

- (e) : 先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「1 デイジー」型の品種の場合に記録する。
- 花盤の中央暗色スポットの有無を記録する。
- 中央暗色スポットとは、花盤中に中心部から円状に広がる暗色部分を指す。(新規提案・CPVO協議)
- 形質78「花盤開やく前の色の区分」で花盤全面が「8 赤褐」「9 褐」「10 褐黒」及び「11 紫黒」の品種は暗色スポットは無とする。(CPVO協議)



1 無



9 有



9 有



9 有

中央暗色スポット

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
84	80	80	QN	花盤と比較した開やく前の中央暗色スポットの大きさ (デイジー型の品種に限る。)	<u>Only daisy type varieties (see char. 31):</u> Disc: size of dark spot at centre before anther dehiscence, relative to disc size	花盤と比較した開やく前の中央暗色スポットの大きさ (デイジー型の品種 (形質31 参照) に限る。)	観察 (e) (h)	3 5 7	小 中 大	small medium large	AAMMIL	

**調査時期**

- (h) : つぼみが開いた後で、先端の頭花の花盤の管状花が裂開し始める前に調査する。

**調査方法**

- (e) : 先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「1 デイジー」型で、形質79「花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無」が「9 有」の品種の場合に記録する。
- 花盤の中央暗色スポットの大きさと、花盤の大きさを比較し記録する。



1 極小



3 小



3 小



5 中



7 大



8 かなり大

**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
85	81	81	PQ	花盤の開やく前の中央暗色スポットの色（ダイジー型の品種に限る。）	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color of dark central spot before anther dehiscence	花盤の開やく前の中央暗色スポットの色（ダイジー型の品種（形質31 参照）に限る。）	測定 (e) (h)		RHSカラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

**調査時期**

- (h) : つぼみが開いた後で、先端の頭花の花盤の管状花が裂開し始める前に調査する。

**調査方法**

- (e) : 先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「1 ダイジー」型で、形質79「花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無」が「9 有」の品種の場合に記録する。
- 花盤の中央暗色スポットの色をRHSカラーチャートで記録する。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
86	82	82 (*)	PQ	花盤の開やく前 の色 (アネモネ 型の品種に限 る。)	<u>Only anemone type varieties (see char. 31): Disc: color before anther dehiscence</u>	花盤の開やく前 の色 (アネモネ 型の品種 (形 質31 参照) に 限る。)	測定 (e) (h)		RHSカラーチャ ートの色票番 号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

**調査時期**

- (h) : つぼみが開いた後で、先端の頭花の花盤の管状花が裂開し始める前に調査する。

**調査方法**

- (e) : 先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「2 アネモネ」型の品種の場合に記録する。
- 花盤全体の主な色をRHSカラーチャートで記録する。



143B



151A



160B

**参考事項**

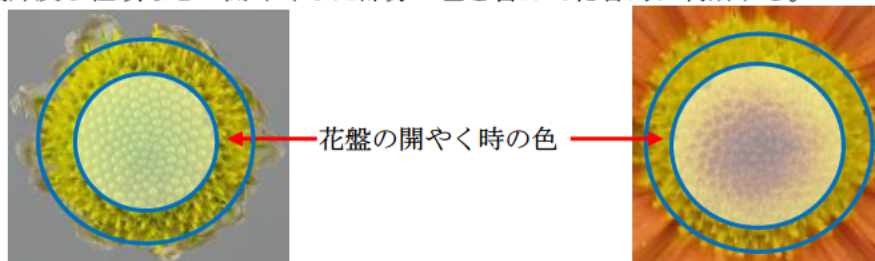
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
87 ～ 88	83	83	PQ	花盤の開やく時の色 (デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color group at anther dehiscence	花盤の開やく時の色 (デイジー型の品種 (形質31 参照) に限る。)	観察 (e)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	白 緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 赤褐 褐 褐黒 紫黒	whitish green yellowish green light yellow medium yellow yellow orange orange reddish brown brown brownish black purplish black	フィク <sup>ラント</sup> ピンク	

調査時期

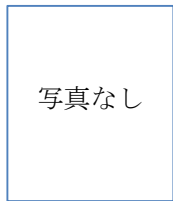
- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「1 デイジー」型の品種の場合に記録する。
- 開やく時に開やく部 (外周の開やくしている管状花部) の色を記録する。
- 管状花裂片及び柱頭などの開やくした部分の色を含んで総合的に判断する。

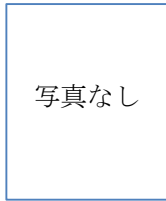






写真なし

1 白



写真なし

1 緑



3 黄緑



3 黄緑



3 黄緑



4 淡黄



4 淡黄



4 淡黄



4 淡黄



4 淡黄



5 黄



5 黄



5 黄



5 黄



5 黄



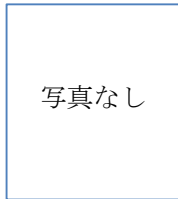
6 黄橙



6 黄橙

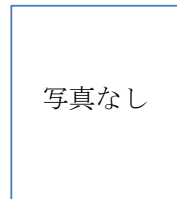


6 黄橙



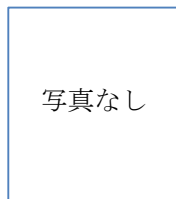
写真なし

7 橙



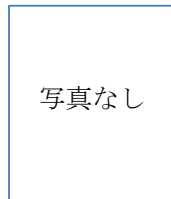
写真なし

8 赤褐



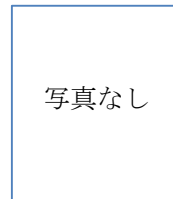
写真なし

9 褐



写真なし

10 褐黒



写真なし

11 紫黒

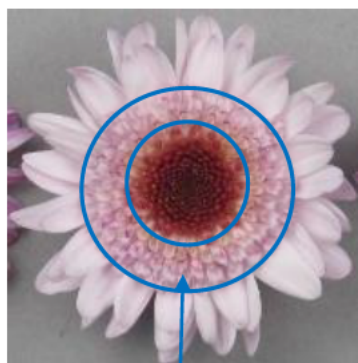
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
89	84	84 (*)	PQ	花盤の開やく時の色 (アネモネ型の品種に限る。)	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc: color at anther dehiscence	花盤の開やく時の色 (アネモネ型の品種 (形質31 参照) に限る。)	測定 (e)		RHSカラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

調査時期

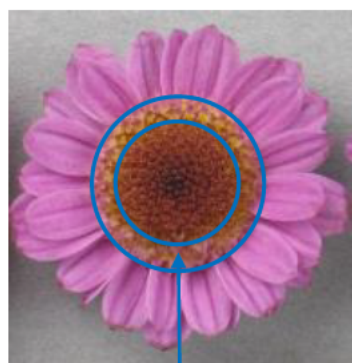
- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

調査方法

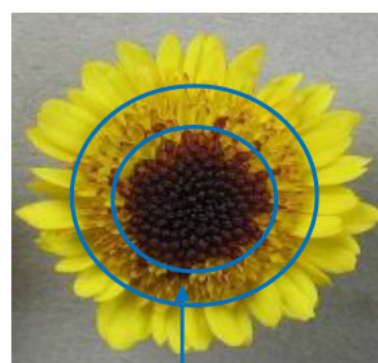
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「2 アネモネ」型の品種の場合に記録する。
- 頭花を正面から観察し、花盤の管状花が開いた部分の主な色をRHSカラーチャートで記録する。



65D (薄紫)



183A (紫茶)



9A (黄)

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
90	85	85	PQ (+)	管状花の形（ア ネモネ型の品種 に限る。）	<u>Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: type</u>	花盤の管状花の形 （アネモネ型の品種（形 質31 参照）に限る。）	観 察 (e)	1 2 3 4 5	針形 管状 ロート形 広がった管状 花弁状	needle shaped quilled funnel shaped enlarged tubular petaloid		

**調査時期**

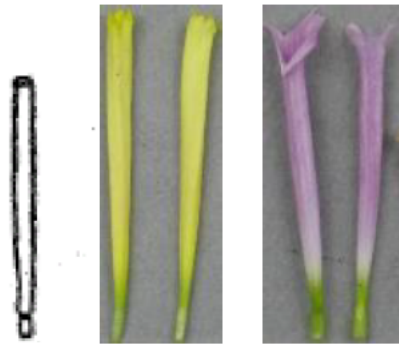
- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

**調査方法**

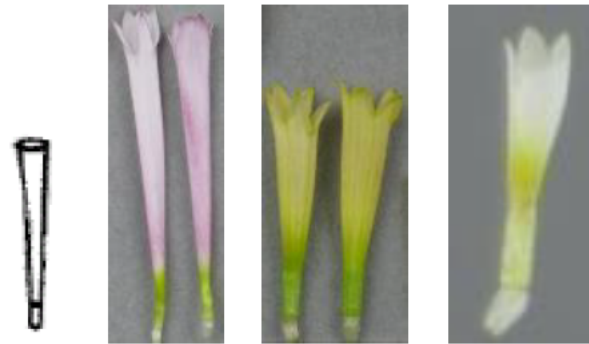
- (e)：先端の頭花について記録する。
  - 形質31「花盤の型」が「2 アネモネ」型の品種の場合に記録する。
  - 花盤の開やくしている管状花の形を記録する。
  - 状態の定義(以下CPVO)
    - 1 針形：先端の形に関係なく筒部が針のよう細長いもの。
    - 2 管状：先端部側が広がっておらずまっすぐで、先端の形に関係なく筒部が細長く針形より太いもの。
    - 3 ロート形：基部から先端側へロート状に広がっているもの。
    - 4 広がった管状：基部の上部に腰となる変曲点の有るもの。
    - 5 花弁状：裂けていて弁化するもの。
- ※「ロート形」、「広がった管状」と「花弁状」の違いは、切れ込みの深さである。



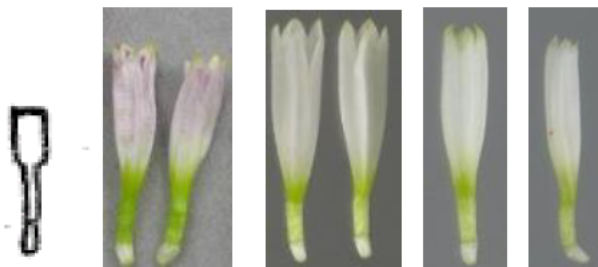
1 針形



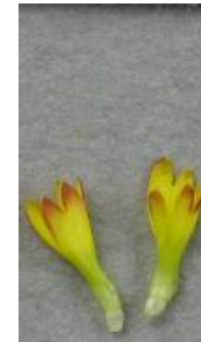
2 管状



3 ロート形



4 広がった管状



5 花弁状

※審査基準の図を引用

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
91	86	86	QN	管状花の長さ (アネモネ型の 品種に限る。)	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: length	花盤の管状花の長さ (アネモネ型の品種 (形 質31 参照) に限る。)	測定 (e) mm	3 5 7	短 中 長	short medium long		

**調査時期**

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「2 アネモネ」型の品種の場合に記録する。
- 花盤の開やくしている管状花の最長部（子房を含めず）を自然状態で測定する。



**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
92	87	87	PQ	管状花の色（アネモネ型の品種に限る。）	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: color	花盤の管状花の色（上から見える主な色）（アネモネ型の品種（形質31 参照）に限る。）	測定（e）		RHSカラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

**調査時期**

- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

**調査方法**

- （e）：先端の頭花について記録する。
- 形質31「花盤の型」が「2 アネモネ」型の品種の場合に記録する。
- 先端の頭花の花盤から開やくしている管状花を抜き取り、外面（花筒部を含む）に見える色及びその発現部位を記録する。
- 外面にない色が内面に見られる場合は、その色を記録する。
- 各色の発現部位（※）については、VIPSの測定値欄に簡潔に記載する。  
（※）：部位の記載は「二次色」、「内面」とする。



NN155B(白)  
72B(二次色)(紫)



162A(橙)  
184B(内面)(赤茶)



NN155D(白)  
4D(二次色)(淡黄)



60C(濃赤紫)  
8A(二次色)(黄)



7B(黄)  
181A(二次色)(赤茶)



青矢印部分の色については、占有面積も少なく、主な色と異なるとも言えないため（濃淡にも見える）、この程度は評価しない。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
93 ～ 94	88	88	PQ	日長感応グループ (正確な日長 制御での栽培)	Response group (grown with precise daylength control)	日長感応グループ (正確な日長制御(短日 処理)で栽培した場合に 限る。)	測定 週	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	6週間未満 6週間 6.5週間 7週間 7.5週間 8週間 8.5週間 9週間 10週間 11週間 12週間 13週間以上	less than 6 weeks 6 weeks 6.5 weeks 7 weeks 7.5 weeks 8 weeks 8.5 weeks 9 weeks 10 weeks 11 weeks 12 weeks more than 12 weeks		
<b>調査時期</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 半数の供試株において1花房当たり4花以上が満開(一重及び半八重は先端の頭花の花盤外側の管状花が2～3列開いたとき、露心する八重及び八重は頭花が完全に開いたとき)となるとき。</li> </ul> <b>調査方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 品種が周年タイプシステム(AYR)の正確な人為的な日長制御の下で栽培され開花する場合、日長感応グループ(形質88)が記録される。(審査基準より)</li> <li>● 栽培試験においては、電照・シェードによる正確な日長制御(短日処理)を行って栽培された場合のみ記録する。</li> <li>● 日長感応グループは、短日処理の開始から半数の植物体が1花房当たり少なくとも4つの頭花が満開になるまでの期間として定義される。(審査基準より)</li> </ul>												
<b>参考事項</b>												



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
95	89	89	QN (+)	自然の開花時期 (正確な日長制御なしで栽培された場合に限る。)	Only where grown without precise daylength control: Natural flowering period	自然の開花時期 (正確な日長制御なしで栽培された場合に限る。) (形質88を記載すれば本形質は不要。)	観察	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

**調査時期**

- 半数の供試株において1花房当たり4花以上が満開（一重及び半八重は先端の頭花の花盤外側の管状花が2～3列開いたとき、露心する八重及び八重は頭花が完全に開いたとき）となるとき。

**調査方法**

- 自然環境下で栽培された品種については、自然の開花時期（形質89）を記録する。（審査基準より抜粋）
- 栽培試験においては、電照・シェードによる正確な日長制御（短日処理）を行わず、自然に開花させる栽培をした場合（叢生品種及び夏ぎく等）のみ記録する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
96	90		QL G	開花習性	Flowering habits	季咲き栽培での開花月	観察	1	4月～6月咲き (夏)	April to June		
								2	7月～9月咲き (夏秋)	July to September		
								3	10月～11月咲 き(秋)	October to November		
								4	12月～2月咲 き(冬)	December to February		

#### 調査時期

- 季咲き栽培で開花する月。

#### 調査方法

- 電照・シェードによる正確な日長制御（短日処理）を行わず、自然に開花させる栽培をした場合の開花習性を記録する。
- VIPS上で春作と秋作のデータを区別するため、測定値欄に春作または秋作を記載する。
- 当該形質については、上記のとおり自然開花させる栽培をした場合に記載するが、栽培試験は、願書説明により秋ギク（10月～11月咲き）と整理されているものを扱うことやVIPS上で春作と秋作のデータを区別するため、測定値欄に春作または秋作を記載することを踏まえ、以下のとおり整理して評価することとする。

・ 出願品種について、栽培試験の結果、通常の秋ギクと同じ開花経過をたどる品種は「03 10月～11月咲き」と評価する。なお、柳芽の発生や開花が著しく遅くなる品種など、通常の秋ギクと異なる状況が確認できれば問題点報告を行い対処する。

・ 対照品種についても、基本的には出願品種と同じ対応をとる。すなわち、秋ギクとして登録されている品種及び育成者からの聞き取りやカタログ情報で秋ギクとされている品種で、栽培試験の結果、通常の秋ギクと同じ開花経過をたどる品種は「03 10月～11月咲き」と評価する。

なお、秋ギク以外の品種は類似度が極めて高い場合を除き、対照品種として供試しないこととする。やむを得ず供試する際、開花経過が通常の秋ギクと同じであっても、事前情報（登録値や聞き取り結果）と矛盾する場合は、栽培試験結果報告として「03 10月～11月咲き」評価することは妥当ではないため、空欄とする。

#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
97	91		QN G	各開花習性における早晩性	Earliness in each flowering habits	各開花習性における早晩性（形質88あるいは89で記載した場合は不要）	観察	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

**調査時期**

- 形質90「開花習性」を調査する時期。

**調査方法**

- 電照・シェードによる正確な日長制御（短日処理）を行わず、自然に開花させる栽培をした場合（叢生品種及び夏ぎく等）のみ記録する。
- 形質90「開花習性」の開花習性（季咲き期間）ごとに、開花の早晩性を評価する。
- 階級値の設定は開花習性（季咲き期間）ごとに行う。
- VIPSの測定値欄には開花日を記載する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
98	92		QN	側枝の多少（切り花用一輪ギク品種に限る。）	Disbudded type for cut flower only: number of lateral buds	発生する側枝の多少（切り花用一輪ギク品種に限る。）	測定	1 2 3 5 6 7	無又は極少 かなり少 少 中 やや多 多	absent or very few very few to few few medium medium to many many	笑王     神馬	
<b>調査時期</b> ● 開花盛期：一重及び八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重品種は、先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。 <b>調査方法</b> ● 摘らいする品種（切り花用一輪ギク品種）について調査する。 ● 調査部位は主茎の上位3分の1とし、そこから発生した側枝数（摘らいした数）を測定する。												
<b>参考事項</b>												

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
99	93		QN	頭花の直径（摘 らいした観賞ぎ くに限る。）	<u>Only Exhibition</u> type: Flower head: diameter (disbudded plants)	頭花の直径 （摘らいしたもの）	測定 (d) (e) mm	3 5 7	小 中 大	small medium large	兼六香菊 国華吉兆	

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (d)：摘らいするきくとして栽培するために育成された品種は、側らい又は側枝（もしあれば）は、先端の頭花を残し早い段階で取り除く。
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種に限る。
- 自然状態での頭花の直径を測定する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
100	94		QN	頭花の高さ（摘 らいした観賞ぎ くに限る。）	<u>Only Exhibition</u> type: Flower head: height (disbudded plants)	頭花の高さ （摘らいしたもの）	測定 (d) (e) mm	3 5 7	低 中 高	low medium high	国華の幸 国華吉兆	

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (d)：摘らいするきくとして栽培するために育成された品種は、側らい又は側枝（もしあれば）は、先端の頭花を残し早い段階で取り除く。
- (e)：先端の頭花について記録する。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種に限る。
- 自然状態での頭花の高さを測定する。

**参考事項**

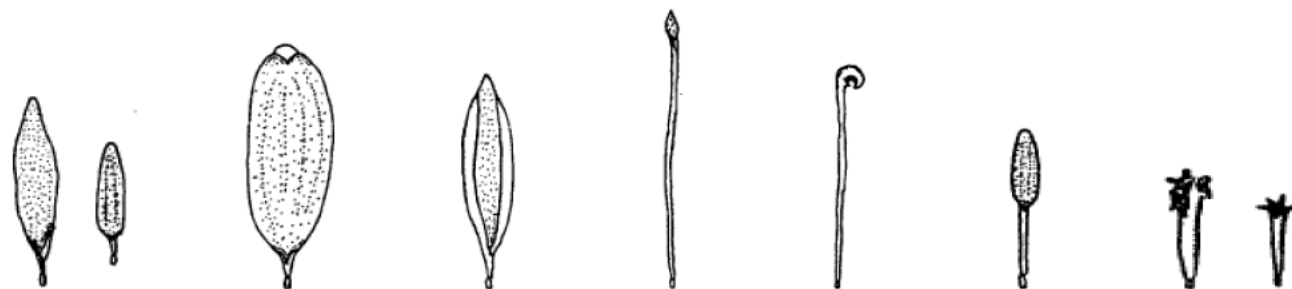
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
101	95		PQ G (+)	頭花の舌状花の 主要な形（観賞 ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Flower head: predominant type of ray floret	頭花の舌状花の主要な形 （観賞ぎくに限る。）	観 察 (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 船底状 種状 管状1 管状2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped tube1 tube2 spatulate anemono shaped		

調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種に限る。
- 舌状花の主要な1つの形について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「1 舌状花なし」の品種を除く。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種は充分展開した内花卉を含む、全ての舌状花で評価する。



1 舌状

写真なし

2 船底状

写真なし

3 種状

写真なし

4 管状1

写真なし

5 管状2

写真なし

6 さじ状

写真なし

7 丁字状

写真なし

※審査基準の図を引用

参考事項



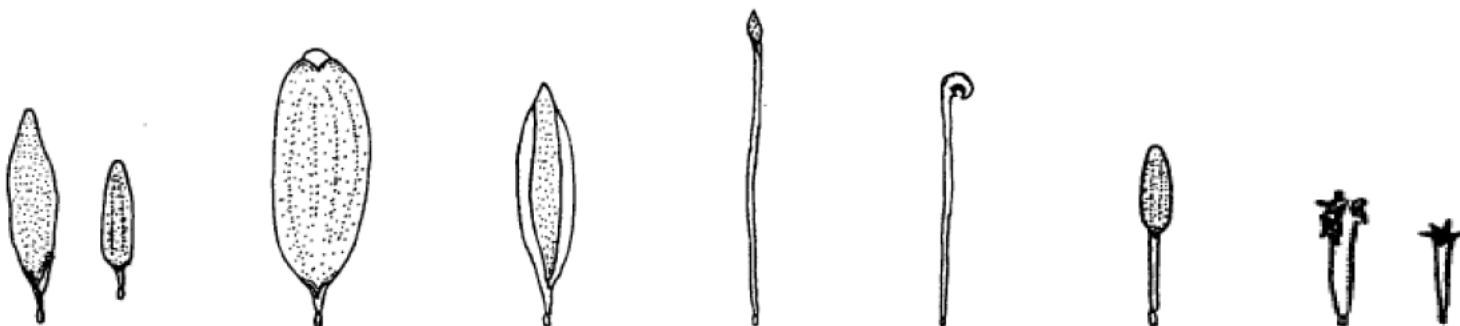
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
102	96		PQ G (+)	頭花の舌状花の二次的な形（観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Flower head: secondary type of ray floret	頭花の舌状花の二次的な形（観賞ぎくに限る。）	観察 (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 船底状 樋状 管状1 管状2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped tube1 tube2 spatulate anemono shaped		

調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種に限る。
- 舌状花で2番目に多い形について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種は充分展開した内花卉を含む、全ての舌状花で評価する。



1 舌状

写真なし

2 船底状

写真なし

3 樋状

写真なし

4 管状1

写真なし

5 管状2

写真なし

6 さじ状

写真なし

7 丁字状

写真なし

※審査基準の図を引用

参考事項

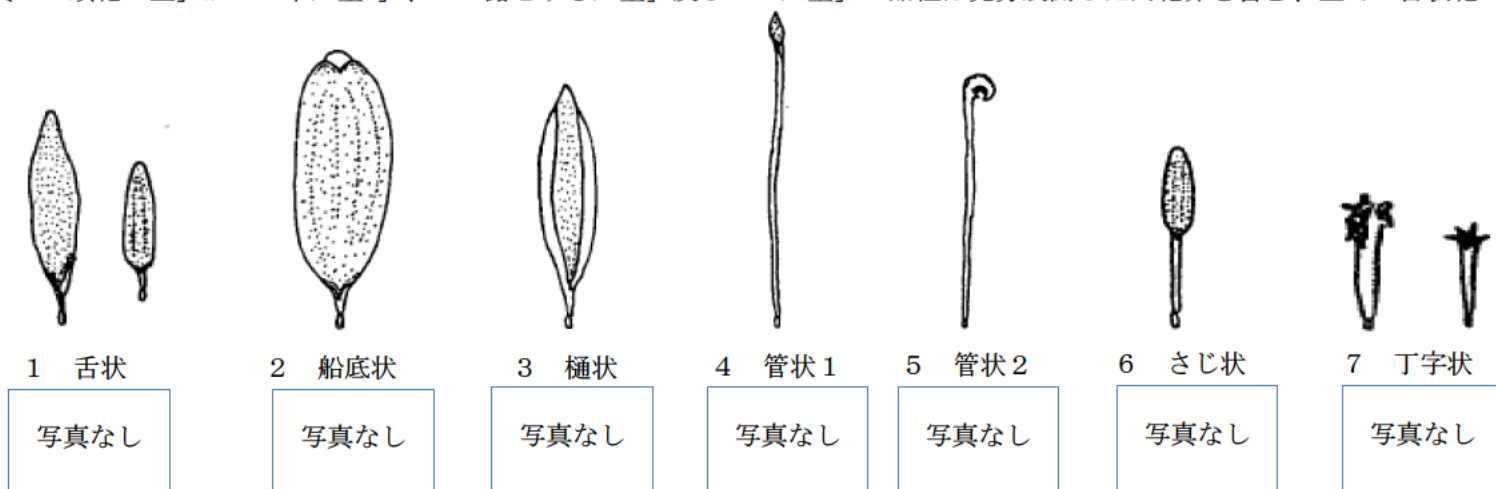
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
103	97		PQ (+)	頭花の舌状花の 二次的な形（観 賞ぎくに限 る。）	<u>Only Exhibition</u> type: Flower head: tertiary type of ray floret	頭花の舌状花の二次的な 形（観賞ぎくに限る。）	観 察 (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 船底状 樋状 管状1 管状2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped tube1 tube2 spatulate anemono shaped		

調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種に限る。
- 舌状花で3番目に多い形について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「3 半八重」、「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種は充分展開した内花卉を含む、全ての舌状花で評価する。



※審査基準の図を引用

参考事項

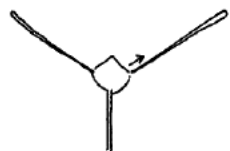
V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
104	98		PQ	舌状花の基部の向き（露心する八重及び八重品種に限る。）	Only daisy-eyed double and double varieties (see char. 30): Ray floret: attitude of basal part	頭花の舌状花の基部の向き（露心する八重及び八重品種に限る。）	観察  (e) (f)	3  5 7	斜上  水平 斜下	moderately ascending horizontal moderately descending		

#### 調査時期

- 開花盛期：一重及び八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重品種は、先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

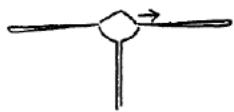
#### 調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。
- 形質30「頭花の型」が「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種に限る。
- 舌状花の基部の水平面に対する向きについて記録する。
- 基部から先端へ角度ではなく、基部の立ち上がりの角度で評価する。



3 斜上  
(+45° ~ +30°)

※審査基準の図を引用



5 水平  
(+15° ~ -15°)



7 斜下  
(-30° ~ -45°)



3 斜上



5 水平



7 斜下



5 水平



7 斜下

頭花横写真では、基部の立ち上がりは隠れているため、どちらも「7 斜下」に見えるが、実際の基部の向きは異なるので注意が必要である。

#### 参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
105	99		PQ (+)	管弁の返しの大きさ（舌状花の主要な形が管状2の観賞ぎくに限る。）	<b>Only Exhibition</b> type: only tube2 varieties on predominant type of ray floret :Projection at mouth of collora tube	管弁品種の返しの大きさ（舌状花の主要な形が管状2の観賞ぎくに限る。）	観察 (e) (f)	3 5 7	小 中 大	small medium large	泉郷情熱	

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種で形質95「舌状花の主要な形」が「5 管状2」の品種に限る。
- 舌状花の先端部にある返しの大きさについて記録する。



3 小

写真なし



5 中

写真なし



7 大

写真なし

※審査基準の図を引用

**参考事項**

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
106	100		PQ (+)	管弁の玉巻きの強弱（舌状花の主要な形が管状2の観賞ぎくに限る。）	<u>Only Exhibition type: only tube2 varieties on predominant type of ray floret</u> :Rolling of tip	管弁品種の玉巻きの強弱（観賞ぎくに限る。）	観察 (e) (f)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	天女の名所	

調査時期

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種で形質95「舌状花の主要な形」が「5 管状2」の品種に限る。
- 舌状花の先端部にある玉巻きの強弱について記録する。



3 小

写真なし



5 中

写真なし



7 大

写真なし

※審査基準の図を引用

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
107	101	58	QN	舌状花の長さ (観賞ぎくに限 る。)	<u>Only Exhibition</u> type: Ray floret: length	舌状花の長さ(観賞ぎく に限る。)	測定 (e) (f) mm	3 5 7	短 中 長	short medium long		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 通称観賞ぎく(大ギク)と呼ばれる品種に限る。
- 典型的な舌状花(必ずしも最大のものとは限らない)の最長部を測定する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
108	102	59	QN	舌状花の幅（観賞ぎくに限る。）	<u>Only Exhibition type</u> : Ray floret: width	舌状花の幅（観賞ぎくに限る。）	測定 (e) (f) mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種に限る。
- 典型的な舌状花（必ずしも最大のものとは限らない）の最大幅部を調査する。

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
109	103	60		舌状花の長さ／幅（観賞ぎくに限る。）	<u>Only Exhibition</u> type: Ray floret: ratio length /width	舌状花の長さ／幅の比（観賞ぎくに限る。）	測定 (e) (f) 比	3 5 7	低 中 高	low medium high		

<日本独自形質>

**調査時期**

- 開花盛期：一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき、露心する八重及び八重は先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前。

**調査方法**

- (e)：先端の頭花について記録する。
- (f)：舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ調査しない。
- 通称観賞ぎく（大ギク）と呼ばれる品種に限る。
- 典型的な舌状花（必ずしも最大のものとは限らない）を調査する。
- 調査個体ごとの舌状花の長さ÷舌状花の幅で算出した値にばらつきがないことを確認した上で、形質101「舌状花の長さ」の平均値と、形質102「舌状花の幅」の平均値から算出した値で評価する。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (state)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
110	104		QN	管状花の花冠の深裂の深さ（花盤の型がアネモネ型の品種は除く。）	Exculueding anemone type varieties : disc florets : lobation	管状花の花冠の深裂の深さ（露心する八重、八重品種は除く、花盤の型がアネモネ型の品種は除く。）	観察 (e)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		

調査時期

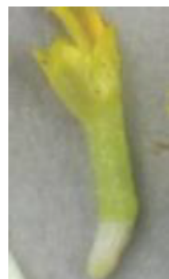
- 開花盛期：先端の頭花の花盤の外から2～3列の管状花が裂開したとき。

調査方法

- (e)：先端の頭花について記録する。
- 形質30「頭花の型」が「4 露心する八重」及び「5 八重」の品種を除く。ただし、「3 半八重」か「4 露心する八重」かの判断が難しい場合は調査しておく。
- 形質31「花盤の型」が「2 アネモネ」型の品種を除く。
- 管状花の花冠（先端部）の深裂の深さを調査する。



3 浅



3 浅



3 浅



5 中



5 中



7 深

参考事項